

第七十回帝國議會
衆議院

一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル
法律案外二件委員會議錄(速記)第十回

會 議

昭和十二年三月十七日(水曜日)午前十時五
十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 木暮武太夫君

理事渡邊玉三郎君 理事田村 秀吉君

理事佐藤謙之輔君 理事小谷 節夫君

理事片山秀太郎君

渡邊 鏡藏君 服部 教一君

牧山 耕藏君 氏家 清君

松田 正一君 尾崎 重美君

宮澤 胤勇君 鈴木康太郎君

今井 健彦君 藤井 達二君

青木雷三郎君 宮澤 裕君

沖 藏君 松山常次郎君

星島 二郎君 綾川 武治君

龜井貫一郎君 田川大吉郎君

三浦 虎雄君

三月十六日委員松岡俊三君、出井兵吉君、

塚本重藏君及中村嘉壽君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ今井健彦君、青木雷三郎君、龜井貫

一郎君及宮澤裕君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十七日委員藏原敏捷君辭任ニ付其ノ補

闕トシテ伊豆富人君ヲ議長ニ於テ選定セリ

三月十六日昭和七年法律第十二號中改正法

律案(造幣局資金拂出ニ關スル件)(政府提

出)、日本銀行條例中改正法律案(政府提

出)、日本銀行參與會法廢止法律案(政府提

出)及東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝

國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ

關涉ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本

委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣

兼文部大臣

出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官

兼內閣恩給局長

大藏省主計局長

大藏省理財局長

大藏省外國爲替管理部長

大藏書記官

大藏書記官

大藏書記官

預金部長

入間野武雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案(政府提出)

恩給金庫法案(政府提出)

會計檢査院法中改正法律案(政府提出)

昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ

ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲

事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關

樋貝 詮三君

廣瀨 豐作君

關原 忠三君

和田 正彦君

上山 英三君

入江 昂君

恒二君

木内 四郎君

入間野武雄君

昭和七年法律第十二號中改正法律案(造

幣局資金拂出ニ關スル件)(政府提出)

日本銀行條例中改正法律案(政府提出)

日本銀行參與會法廢止法律案(政府提出)

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大

學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關

涉ニ關スル法律案(政府提出)

○木暮委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨

日來氏家委員其他カラ、總理大臣ノ御出席

ヲ要求サレテ居リマシタガ、色々貴族院ノ

豫算委員會ノ方ノ御都合デ、參ラレマセヌ

デシタガ、本日豫算委員會ノ會議中特ニ此

方ノ要求ヲ御容レ下ステ、御出席ニナリマ

シタノデ、其點ヲ御考慮下サイマシテ、總

理大臣ニ對スル質疑ハ成ベク要領ヲ、御申

出ヲ願ヒマシテ、質問ヲ短イ時間ニ終了セ

ラレルヤウ、總理大臣ニハ色々御約束モア

ルヤウナ御話デゴザイマスカラ、其意味デ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
恩給法中改正法律案(政府提出)
恩給金庫法案(政府提出)
會計檢査院法中改正法律案(政府提出)
昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲
公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件
ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)
(政府提出)
昭和七年法律第十二號中改正法律案(造幣局
資金拂出ニ關スル件)(政府提出)
日本銀行條例中改正法律案(政府提出)
日本銀行參與會法廢止法律案(政府提出)
東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特
別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關ス
ル法律案(政府提出)

質問ヲ進メテ戴キタイト思ヒマス——氏家君

○氏家委員 私ハ此恩給金庫法案ニ附帶シテ、恩給金庫法ノ根本デアアル恩給法ニ付テ、總理大臣ニ少シ伺ッテ置キタイト思ヒマス、此間中カラ御出席ヲ願ヒマシタガ、御出デガアリマセヌデ、漸ク本日質問シ得ルコトニナリマシタコトハ、非常ニ私ノ欣ビトスル所デアリマス、先日來總理大臣ノ御出席ガナイノデ、大藏大臣ノ御出席ヲ願ッテ、實際質問シテ置キマシタガ、大藏大臣ハ自分ノ主管デモアリマセヌカラ、唯私ノ此法案ニ對スル所見ニ對シテハ同感デハアルガ、必シモ此次ノ議會ニ提案スルト云フマデニハナッテ居ラヌカラ、先ヅ研究ノ餘地ヲ與ヘテ呉レ、斯ウ云フヤウナ意味デアッタノデアリマス、私ハソレダケデハ甚ダ物足りナク感ジテ居リマスノデ、直接責任ノアル總理大臣ニ、御伺ヲシテ置キタイト考ヘルノデアリマス、要スルニ現行ノ恩給法ハ、待遇ガ私共カラ見ルト優遇ニ過ギテ居ル、斯ウ云フヤウニ思ッテ居ル、隨テ斯ウ云フ恩給金庫法モ、優遇ニ過ギテ居ル、受給者ヲ優遇スルヤウニ思ウテ居ルノデアリマスガ、併シ今ノ金庫法ニ對スル議論ハ、其點ニ留メテ措キマシテ、其根本ノ恩給法ノ改正ヲス

ル御意見ガナイカラ、伺ッテ置キタイトデアリマス、私ノ考デハ今ノ役人ト云フモノハ、大變御務ガ辛イ御務デアッテ、一般ノ國民ヨリモ尙ホ非常ニ任務ガ重イノデアリマスレバ、隨ッテ恩給モ澤山ヤラナケレバナラヌ必要ガ起ッテ來ルカモ知レマセヌ、所ガ私カラ見ルト、今ノ役人ノ仕事ガ一般ノ國民ノ仕事ヨリモ、大層辛ライ重イ仕事トハ思ハレナイト思フノデアリマス、又假ニ執務時間カラ見マシテモ、僅ニ長イ時デ七時間デアリマス、短イ時ハ四時間位デアリマス、平均シテ役人ノ勤務ト云フモノハ、五時間ニシカ當リマセヌ、サウシテ俸給ハト云フト、隨分相當ノ俸給ヲ取ッテ居ル、生活状態カラ見マシテモ、一般ノ商工民ヤ農民ナドトハ、無論同日ノ論ヂヤナイ、非常ニ有利ニナッテ居ル、殊ニ甚シキニ至ッテハ奏任官位チスラモ、官廳ノ自動車ナドヲ乘廻シテ居ルノヲ往々ニ見ル、ソレ位ノ贅澤ヲシテ居ルノデアリマス、サウシテ平生生活ガ裕カデアッテ、尙ホ辭メテカラモ其恩給ニ依ッテ生活ヲシテ居ラレル、餘リニ裕カ過ギルヤウニ思ハレルノデアリマス、國民ノ生活状態ハ、所謂上ノ御方々ハ御承知ナイカモ知レマセヌガ、實ハ隨分辛ライモノデアリマス、農民ナドハ朝暗イ中カラ起キテ、夜ノ長イ時

ハ夜中マデ働イテ居リマシテ、勤務ノ一番少イ時デモ農民ナドハ十二時間位働キ、多イ時ハ十六時間位ニナッテ居ル、サウシテ其生活ハト云フト、自分デ穫ッタ米ノ飯ガ農民ハ食ヘナイ、外ノ人カラ見マシタラ百姓デアルカラ自分デ米ヲ穫ッテ居ルカラ、立派ナ米ノ飯ヲ食ッテ居ルカト云フト、何ゾ知ラン百姓ハ米ノ飯ハ食ヘナイ、ヨク昔ノ本ナドニ書イテアルヤウニ、農家ハ蠶デ絲ヲ取ッテモ、農家ハ其絲デ織ッタモノハ著レナイ、ソレト同ジコトニ米ヲ穫ッテモ、米ノ飯ガ食ヘナイ、論ヨリ證據ニ日本ノ米ノ生産ガ僅ニ六千萬石、一人當リガ一石ニモ當ラナイ米デスカラ、連モソシナコトデハ米ノ飯ハ食ヘナイ、百姓ハ本當ニ食事ヲスル時ニハ、一日一升位食ハナケレバ努力ニ堪ヘナイ、ソレナノニ平均年ニ一石位シカ米ヲ食サナイ、ソレハドウデアアルカト云フト、皆混ゼ物ヲ入レマシテ、野菜ヲ食フトカ、一番良イ家庭デモ麥ヲ食フ、或ハ豆ヲ食フ、サウ云フモノヲ食ッテ生活ヲシテ居ル、而モ味噌汁モ食ヘナイデ、鹽ヲ嘗メテ生活ヲシテ居ル農民ガ多イ、然ルニ是等ノ多數ノ小農民ニ向ッテハ、幾ラ骨ヲ折ッテ、年ヲ取ッテカラ困ッテモ、ソレヲ救フ途ヲ與ヘナイデ、養老ノ法ハ立ッテ居リマセヌ、單ニ役人ダケハ辭

メタ時モ生活ヲ安樂ニシテヤル、餘程ドウモ私ノ考デハ餘リニ不權衡デ、一方ニ重ク一方ニ輕イト思フ、私ハ總テ世ノ中ノコトハ何事ヲシテモ、總テガ平デナケレバナラヌ、然ルニ官吏ニバカリ重ク待遇シテ、サウシテ一般國民ハ顧ミナイヤウナ状態ニナッテ居ル、國民ハ唯税金ヲ絞ラレテ居ル、デアアルカラ農村ナドニ參ッテ見マスト、ドウモ役人様ノト云フ聲ヲ聞ク反面ニ、其役人ニ對シテハ怨嗟ノ聲ガアルノデアアル、今日ハ役人ヲ尊敬スルト云フヨリモ、役人ニ對シテ怨ミノ聲ガアルト云フノガ、今日ノ狀況デアルト私ハ思フ、斯ウ云フコトハ併ナガラ表立ッテ言フコトデアリカラ、多ク上人ノ耳ニハ入りマセヌ、デアアルカラ能ク其事情ハ御承知ノナイ方モ多イト思ヒマサガ、餘程農村ハ困ッテ居リマスカラ、困ッテ居ルニ隨ッテ其怨ミノ聲ガ大キクナル、斯ウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマス、私ハソレ等ノ状態カラ見テモ、是ハドウシテモ國民一體ニ、一ツノ優遇法ヲ考ヘテ見ナケレバナラスト思フ、殊ニ恩給法ナドハ改正シテモ宜イヂヤナイカ、現ニ國費ノ恩給ヲ取ッテ居リナガラ、地方ノ役人ニナッテ、地方費カラモ給料ヲ貰ッテ居ル、ソレデモ恩給モ差止メラレナイ、或ハ市役所ニ、或ハ町村役場ニ、

色々ナ公共團體ノ職ニ就イテ居ル人ガ多イノデアリマス、是等ノ人々ハヤハリ恩給モ取り、給料ヲ取ツテ居ル、寧ロ二重ノ利得ト言ッテモ宜イ位デアリマス、國法ハ許シテ居ルノデアリマスガ、餘リニ併シ是ハ優遇シ過ギル、是等ニ付テモ隨分御考下サッテ宜イデハナイカト思フデアリマス、殊ニドウ云フ人ガ取ツテ居ルカト段々調ベテ見ルト云フト、恩給ノ受給者ナル者ノ年齢カラ見マシテモ、海軍ナドハ三十二歳カラ恩給ヲ取ツテ居ル人ガアル、陸軍ハ三十七歳、文官ガ四十六歳、兎ニ角平均シテモ四十一歳カラ恩給ヲ受ケテ居ルノデアアル、餘リニ是ハ若イ時カラ恩給ナド安逸ナ生活ヲシテ居ッテハ、ドウ云フモノカト私ハ思フ、私ハ斯ウ考ヘル、一體生活ヲ餘リ安樂ニシテハ人間ハ進マナイ、寧ロ官吏ノ古イ者ハ餘リニ生活ガ安逸ナ爲ニ、ドウモ世ノ中ノ事ニ疎クナッテ居ル、人間トシテハ、先ヅ惡ク言フト賢クナイ人間ニナッテシマフ、是モ考ヘナケレバナラヌコトデアアル、人間ハヤハリ苦ンデ行ッテコソ、初メテ進ムノダ、餘リ安逸ニシテ居ッテハ進マナイ、ダカラ役人ノ古イ者ニハ餘リ惻巧ナ人ガ無イノハ、ソコニ在ル、サウ云フ生活ヲサシテ居ルノハ宜クナイト思フ、更ニ一方、ソレデモ國ガ非常

ニ裕カデ、幾ラ金ヲ拂ッテモ差支ナイト云フノナラバ別デスガ——所ガ國費ノ方カラ申シマスレバ、私申上ゲルマデモナク、隨分豫算デ御苦ミニナッテ居ル、今ヤ豫算ハ二十八億圓ニモナッテ居ル、大豫算デアリマス、其大豫算ヲ調ベテ見マスト、恩給ハ殆ド二億ニ近イ、國費ヨリ二億カラノモノガ抜ケテ居リマス、是ト縣費支給ヲ加ヘマシタナラバ、二億以上デアリマス、實ニ大ナル金デアリマセウ、更ニ國債ノ方ヲ見マスト、モウ既ニ百億デ、更ニ毎年十億カラ出シテモ足りナイ財政デアアル、今後十年モ經ツ内ニハ二百億以上ニナリマス、日本ノ國債ハ一國ノ財政ノ上カラ考ヘタナラバ、容易ナラヌコトデアルト思フ、然ルニ二億以上ノ金ヲ毎年支拂ッテ、彼等ヲ徒食サセテ居ル、サウ云フヤウニシテ國家ガ責任ヲ何處マデモ背負ッテ行カナケレバナラヌトシマシタナラバ、恩給亡國ト云フ言葉ハ故アル哉ト私ハ思フ、併シ是ハ多ク官吏ノ人ハ考ヘテ呉レマセヌ、ト云フノハ自分ノ取前ヲ減ラヌコトニナッテ來ルカラ容易ニ考ヘマセヌ、併シ是ハドウシテモ上ニ立ツ人ハ、考ヘテ貰ハナケレバナリマセヌ、無論一般ノ政治家家ハ之ニ對シテハ餘程考ヘテ行カナケレバナラヌト私ハ思フ、私ハ思フニ、斯ウ云フ

國費ノ濫費トカ浪費ト云フ言葉ハ、惡イカモ知レマセヌガ、サウ云フ方カラ見レバ、恩給程馬鹿氣タハナイ、總豫算カラ見テモ、二十八億ノ中ノ半分ハ國防費デ、残り十四億ガ一般行政費ニナッテ居ル、其中カラ國債ノ方ニ四億ヲ取り、恩給ノ二億ヲ取ルト、アト八億位シカナイ、實ニ其點カラ見ルト行政費ハ少イノデアルカラ、各方面デ或ハ港灣、或ハ道路、鐵道、隨分要求シテ居リマスガ、ソレガ出來ナイノモ餘儀ナイコトデアリマス、生産費ニ何モ關係ノナイ金ガ、國債ト恩給デ六億モ支拂ッテ居ル、是ハ今後尙ホ益殖エテモ減ルコトハナイ、實ニ是ハ財政カラ見テモ、餘程考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、浪費ノ防グルモノハ出來ルダケ防ギ、支出ノ少クセラレルモノハ少クスルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト思フ、サウシテ恩給ヲ減シタ爲ニ、恩給者ガ倒レルト云フコトハナイト思フ、私ガ知ッテ居ル範圍デ見テモ、恩給ヲ取ッテ居ル人ト云フモノハ、恩給ガナクナッテ場合ドウカト云フト、ソレガ爲ニ路頭ニ迷ッタリ、一般商工民ヨリモ生活ガ低クナッテシマフト云フコトハ、毛頭ナイト見テ居ルノデアリマス、併ナガラソレハ多少ノ苦ミハアルカモ知レマセヌガ、ソレハ仕方ガナイ、

徒食サセルコトハイケナイト思フ、デアアルガ恩給ヲ絶對ニ廢スルノカト云フト、サウデハナイ、恩給ノ支給方法ヲ改正シテ、恩給ハ無論立テ、置ク、ソレニハ今ノヤウニ或ル年齢ニ達スレバ支給スルト云フ方法デナクテモ宜サ、ウナモノデアアル、是ハ私ノ一案デアリマスガ、其一方方法トシテハ、例ヘバ恩給ハ十七年勤續シタ者ニハ誰ニデモ與ヘルノヲ、六十歳以上ニナッタラ與ヘル、或ハ五十五歳以上ニナッタラ與ヘルトカ云フヤウニ、支給ノ年限ヲ延長シタラドウカ、若シ病氣其他ノ事故デ家計ノ困難ナ事情ニ在ル者ニハ、給與スルト云フコトモ一ツノ案デアルト思フ、又更ニ一ツノ案ハ、現ニ大キイ會社、私ガ滿鐵ヲ調ベタラ、滿鐵デ採ッテ居ル方法ハ、中々良イ方法デアッタ、會社ハ國家ノヤウニ無制限ナ財源ヲ持ッテ居リマセヌカラ、恩給ナント云フモノハ支給ノ仕様ガナイモノデスカラ、彼處デハ皆大キイ會社ハ獨リ滿洲鐵道ニ限ラズ、此恩給ノ方法ガ非常ニ違ッテ居リマス、ソレハドウスルカ、多クハ積立金ノ方法デ、給料ノ十分ノ一ヲ積立テ、置イテ、サウシテソレニ依ッテ退職ノ場合ニハ、其積立テタ金ニハ利子ヲ加ヘテ、支拂ッテヤルト云フコトニナリマスカラ、長ク職ニ在ッテ退職シマシタ人

ハ、一時ニ何萬圓ト云フ金ヲ貰フ人モアリ、何千圓ヲ貰フ人モアル、サウスルト其金ニ依ッテ自分ノ生活ノ基礎ヲ定メラレマスカラ、寧ロ今ノ恩給法ヨリモ、實際ニ於テハ貰ッタモノ、效果ハ、アルカト思ハレルノデアリマス、今現ニ現行法デハ國ノ負擔ガ多イケレドモ、受給者カラ言フト辭メタ時ニ、三分ノ一シカ貰ヘナイカラ、是マデ六千圓ノ人ガ二千圓トナッテシマフ、三千圓ノ人ハ一千圓ニナッテシマフカラ、生活ガ直グニ非常ニ窮屈ナモノニナッテ、大變苦シムヤウナコトニナル、ソレガ爲ニ今ノ金庫ガ必要ナコトニナッテ來ル、高利貸カラ金ヲ借りテ生活スルト云フヤウナ者モ出テ來ル、サウデナクシテ一時ニ今ノヤウナ積立金ノヤウナコトヲヤッテ行ッテ、ソレニ國ガ加ヘテヤルヤウナ方法ニスレバ、生活ノ基礎ガ退職ノ時ニ立テラレル、何千圓或ハ何萬圓ト云フ金ガ一時ニ入りマスカラ、ソレニ依ッテ生活ノ基礎ヲ立テルコトガ出來ル、サウ云フヤウナコトニシテ行ケバ、國家ノ支出モ少クテ大層良イデハナイカ、是マデノ百分ノ二トカ百分ノ五若クハ八トカ十トカ云フコトニシマスレバ、一時ハ困難ヲ感ズルカモ知レヌガ、併シ是ハ取締ノ仕様デス、此前製艦費ノ時ハ天皇ノ詔モアッタノデアリマスガ、全

國ノ金ヲ總テ十分ノ一ヲ捧ゲタコトデアリマス、其十分ノ一ヲ捧ゲタ爲ニ生活ガ困難デ、官吏ガ首ヲ縊ッタト云フヤウナコトハ一ツモナカッタ、ヤハリ相當ニ生活シテ居ル、而モ生活シテ居ルバカリデナク大變ニ緊張シテ、寧ロ良カッタ、私ハ平生ニ於テアレト同ジヤウニ、十分ノ一積マシテモ宜イト思フ、サウスルト法律デサウサセマスカラ、家庭ガ大變ニ緊張スル、親父ガ餘リ役所カラ退ケルノガ遅クナラナクナル、サウスルト奥サンノ方デ取締モ却テ良クナリマヌルカラ、茲ニ貯蓄ト云ウテモ銀行ニシテ置クナラバ、取レナイ場合ガアルカモ知レマセヌケレドモ、國ガヤッテ居ルカラ取レナイト云フコトハナイ、ソレダカラ退職ノ時ハ纏ッタ金ヲ取レル、大變良イ方法デ、私ハ役人ノ家庭ガ非常ニ良クナルト思フ、思ヒ切ッテ十分ノ一位積マシタ方ガ良イデハナイカト思フ、ソレニ積ンデ行ッタモノガ其金ト同様若クハ何割増カ、ソレヲ國ガ給與スル方法ニナリマシタナラバ、其人ガ退職シマシテモ直グ一ツノ商店ヲ開クナリ、或ハ農地ヲ買フナリ出來ルト思フ、ドウモ今ノ官吏ハ退職シタ人ヲ見マスト云フト、郷里ニ戻ッテ來ル人ナドハ少イヤウデス、東京若クハ大阪デ遊ンデ居ル、良ササウナ所へ家

ヲ構ヘテ、サウシテドウモ安逸ナ生活ヲシテ居ル、實ニ羨シイモノデアルト私ハ思フ、東京附近ノ新シイ家ヲ聽イテ見ルト、大抵恩給者デアル、國家ガ是程困ッテ居ル場合、國民ガ是程困難シテ居ル場合、一部ノ官吏バカリサウ云フ風ナ生活ノ餘裕若クハ生活ノ安逸ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ全ク間違ヒダト私ハ思フ、私ハ此恩給法ノ如キハ獨リ此國ノ財政トカ云フ關係バカリデナイデス、モウ一ツ深い影響ガ今日生ジテ居ル、農村ノ今日ノ疲弊ガ、ヤハリ之ニアルト私ハ思フ、ソレハドウカト云フト、實ハ是ハ近イ例デアアル、今青年ノ氣分ハドウデアアルカト云フト、皆役人ノ氣分デス、ソレハ何ノ爲カ、役人程良イモノハナイカラデス、デアアルカラ今日多ク色々ナ學校ヲ拵ヘナケレバナラスノハ其爲デアアル、農村ノ父兄ガ子弟ヲ養フ爲ニ、農村ガ子弟ノ希望ニ應ズル爲ニ、無理ヲシテ金ヲ出スノモ此教育費デアアル、其目的ハ何デアアルカト云フト、皆官吏々々デ、官吏ニナルガ爲デアアル、其爲ニ一生懸命働イテ蓄メタ金デモ足りナイデ、借金シツ、金ヲ出シテ居ルカラ、農村ガ非常ニ疲弊シテ居ル、租稅ガ高クテ其爲ニ農村ガ困ッテ居ルバカリデハナイ、無暗ニ教育費ニ競ッテ金ヲ掛ケルヤウニナッタカ

ラ、農村ガ疲弊シテ居ルト云フノモ一ツノ原因デアリマス、ソレデ其結果トシテ農村ガ非常ニ今日ハ窮乏シテ居リマスノデ、之ヲ一ツ更生シテ行クニハ、農村ニ人物ガ必要デアリマスガ（「簡單々々」ト呼フ者アリ）所ガ何ゾ知ラン、農村ニハ人物ガ無クナッテシマヒマシタ、町村長ヲ見付ケルノニモ洵ニ困ッテ居ル有様デアアル、有爲ナ人ハ皆外ニ行ッテシマッテ居ルノデ、人物ヲ見付ケルノニ非常ニ困難デアアル、是モ農村疲弊ノ一原因デアルト思フ、デアアルカラシテ私ハドウシテモ此恩給法ト云フモノヲ改正シテ、國ノ財政ノ上カラ見テモ、色々ナ關係カラ見テモ、改正スルコトハ最モ是ハ急務デハナイカト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、ドウカソレニ對シテ總理大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、強イテ明年ノ一請リ此秋ノ議會ニ御提案ガナケレバ、或ハドウモ私共自カラ其法案ヲ出スヤウニナルカモ知レマセヌ、併シソレデハ面白クナイ、外ノ案ト違ヒマシテ、斯ウ云フコトハ私共カラ出シテ、サウシテ議會デ其善シ惡シヲ争フト云フコトハ、餘リニ面白クナイコトデアアルカラ、寧ロ是ハヤハリ當局者ノ方カラ御提案ナスッタ方ガ都合ガ好イ、斯ウ云フヤウニ私共ハ考ヘル、此點ニ付テモ一

應伺ッテ、此恩給金庫法案ヲ決定スル上ニ、参考トシタイト思ヒマシテ、御忙シイ所ヲ御願シタ次第デアリマス

○林國務大臣 只今氏家サンカラ御話ノ恩

給問題ニ付テハ、豫テ私共モ色々サウ云フ點ニ付テハ聞イテモ居リ、考ヘテモ居ル次第デアリマスガ、今御話ノ中デ、例ヘバ外ノ恩給ヲ持ッテ居ルヤウナ、或ハ又外ノ方デ給料ヲ受ケテ居ルトカ、或ハ恩給ヲ貰フ者ノ年齢ガ若カ過ギルト云フヤウナ事柄ハ、屢

耳ニシテ居ル所デアリマス、隨テ此恩給ノ

方法ト云フコトニ付テハ、相當研究スベキ場合ニ達シテ居ルト私ハ考ヘテ居ル、併シ一面カラ申シマス、此恩給ヲ受ケテ居ル者ノ外常ニ悲惨ナル狀況アタリモ、相當聽カサレテ居ルノデアリマシテ、此恩給ヲ與ヘルト云フコトニ付テモ、相當考ヘナクチヤナラヌ問題ガ色々アルト思フノデアリマス、尙ホ此點ニ付キマシテハ、今御話ノ所

謂恩給ヨリモ何カ積立金デモ作ッテ、サウシテ一時ニドット金ヲヤルト云ッテヤウナ方法ハ、ドウカト云フ御意見モアリマシタガ、是等モ相當今マデ研究サレテ居ルコト、存ジテ居リマス、又ソレニ伴フ所ノ弊害ト云フモノモ考ヘラレ、要スルニ此問題ハ相當重大ナル問題デアッテ、又全般ノ國費ノ上ニ

相當影響ヲ與ヘテ居ル問題デアリマスカラ、出來ルダケ早ク此問題ニ付テノ研究ヲヤリマシテ、相當ナル方法ヲ講ジタイト考ヘマス

○木暮委員長 氏家君ハ、モウソレデ宜シ

ウゴザイマスカ

○氏家委員 私ハ只今ノ總理大臣ノ御答辯

ヲ諒シマシテ、此程度デ終リマスガ、成ベク近い御實現ヲ希望シテ置キマス

○星島委員 私ハ極ク簡單デアリマスガ、

先般大藏大臣ニ私カラ御尋シマシタコトニ付キマシテ、幸ヒ總理大臣モ居ラシヤイマスカラ、一言ダケ御所信ヲ伺ヒタイ、ソレハ此恩給金庫法案ハ、洵ニ結構ナル法案デアリマシテ、私ハ其成立ヲ希望スル一人デアリマスガ、サウ云フ際ニ直グニ考ヘルコトハ、吾々議員ノ問題、私ハ此議會ヲ良クシタイト云フ熱望カラ、色々ナコトヲ考ヘマス、其中ノ一ツトシテハ議員ヲ優遇スルコトモ一ツノ方法ト思フ、今ノ宮中席次ニ付テモ、議長副議長ノ如キ地位ト云フモノハ定ニ低イ、議長ノ如キハ國民ヲ代表スル一ツノ中心ト致シマシテ、總理大臣ニ匹適スル地位ト考ヘテ宜シイノニ、宮中席次ニ於テ大變下ノ方ニナッテ居ルコトハ、洵ニ遺

憾デアリマス、一般議員尙ホ然リデアリマス、ソレデ私ハ先般モ大藏大臣ニ御伺致シマシタガ、具體的ノ一ツノ問題ト致シマシテ、今歳費ヲ上ゲルコトハ時節柄言ヒタクモナイガ、一般閣僚諸公ノ俸給ナドモ、餘リニ社會的地位カラ考ヘテ見マシテ少ナイ、ソコニ弊害ガアル、獨リ議員ノミガ歳費ヲ増額スルト云フコトハ、今ノ時節柄言ヒタクナイ、併ナガラ何カ之ニ方法ハナイカ、殊ニ偶然此委員會ノ席ニ、三十年勤續ノ議員諸君ノ油繪ガ掛ッテ居リマスガ、其中デ人格ノ最モ非難ノナイ方デ、正シクヤッテ今日迄來マシテ、サウシテ今日入院シテ居ルノニ、非常ニ家ハ困ラレル、ソコデ議員ガ醜金シテ入院費ヲ償フト云フヤウナコトハ、餘リニモ悲惨デアル、私ハ其油繪ノ前デ本人ニ對シテ相濟マヌケレドモ、痛切ニ何カシラ議員優遇ノ途ヲ講ジテ貰ヒタイ、此議事堂モ立派ニ出來マシタケレドモ、是デモ議員ハ殆ド住マウ所ガナイ、漸ク裏通リニ議員ノ控室ヲ造ッテ貰フコトノ豫算ガ、馬場財政決ッテ居リマシタノガ、今度ノ林内閣デ削ラレテシマヒマシタ、甚ダ殘念ノ至デアリマスガ、是ノ如キハ來年度ニハ必ズ出シテ戴カナケレバナラス、唯議會ノ外觀ノ建築ガ立派ニナッタノミデハ、一向吾々

ハ満足出來ナイノデアリマス、正シク本當ニ議員生活ヲ致シマスレバ、實際生活ニ困ルコトガアル、ツイ惡イコトヲスル人間ガ出テ來ルト云フヤウナコトニナリマスカラ、何カ恩給ニ似タヤウナ方策ヲ、一ツ特別ニ御考慮ヲ願ヒタイ、去年亞米利加ノ議會ヲ觀テ參リマシタガ、彼處邊リデハ議員一人ノ俸給實ニ一萬弗、而モ此一萬弗ノ手當以外ニ、議員ハ三ツノ部屋即チ「オフィ

ス」ヲ與ヘラレテ、而モソレニハ政府ノ俸給ヲ以テ支拂ハレル「セクレタリー」ガ二人、「ボーイ」ガ一人居ルト云フ譯デ、實ニ至レリ盡セリデアリマシテ、其處デ寢泊リシテ十分ニ研究ガ出來ル譯デアリマシテ、私ハサウマデ理想ハ言ヒマセヌケレドモ、現在ハ餘リニ貧弱デアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、來年豫算ヲ組マレル際ニハ、特ニ御考慮願ヒタイ希望ヲ持ッテ居リマスノデ、ソレニ對スル總理ノ御言明ヲ得テ置キタイト思ヒマス

○林國務大臣 只今ノ議員ニ對スル待遇問

題ノ御意見ガアリマシタガ、至極御尤ノコト、思ヒマス、外國ノ例ナド考ヘマス、ト、非常ナ日本ノ狀態ハ薄遇ト云ッテモ宜イ位ノモノデアル、色々ノ關係デ是ガ今日迄問題ニナッテ居ラヌノダラウト思ヒマスガ、出

來ルダケノ方法ニ付テハ研究シテ見タイト存ジマス、只今ドウスルト云フコトヲ、直チニ御約束ハ出來マセヌケレドモ、是ハ相當研究セナケレバナラヌ問題ダト私ハ考ヘテ居リマス

○星島委員 諒承致シマシタ

○木暮委員長 ソレデハ只今議題ニナツテ居リマスル三案ニ對スル質疑ハ、御申込ノ方ハ全部終了致シマシタ、大體是デ終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○木暮委員長 ソレデハ是デ終了致シマシタ、恩給法中改正法律案、恩給金庫法案竝ニ會計検査院法中改正法律案、右三案ニ對スル質疑ハ終了致シマシタ、是デ休憩致シマシテ午後一時カラ再開致シマス、尙ホ此委員會ニ付託サレテアリマス 昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、所謂赤字公債、昭和七年

法律第一號中改正法律案（滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件）、昭和七年法律第十二號中改正法律案、日本銀行條例中改正法律案、日本銀行參與會法廢止法律案、東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案、是ダケノモノヲ議

題ニ供シマシテ、先ヅ此全體ニ付テ政府ノ提案ノ詳細ナル説明ヲ、午後一時カラ伺ヒマス、而シテ質疑ハ昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ト、次ノ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件ト、昭和七年法律第十二號中改正法律案ト、此三案ダケヲ質疑ニ入りマシテ、日本銀行條例中改正法律案ハ質疑ヲ其次ニ致シタ方ガ、便宜デ宜シイト思ヒマス、其意味デ進メタイト思ヒマス、

只今質疑ノ終了致シマシタ恩給法中改正法律案、恩給金庫法案竝ニ會計検査院法中改正法律案、之ニ付キマシテハ適當ノ時ニ成ベク早イ機會ニ、採決ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、是デ休憩致シマシテ午後一時カラ再開致シマス

午前十一時三十分休憩

午後一時四十六分開議

○木暮委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ

マス、午前中ノ會議デ決定致シマシタ通り、恩給法中改正法律案、恩給金庫法案、會計検査院法中改正法律案、右三案ニ對スル質疑ハ終了致シマシタ、當委員會ノ扱ヒ方トシテハ、右三案ニ付テハ採決ダケガ残ッテ居ルコトナリマス——續イテ昭和十二

年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、昭和七年法律第一號中改正法律案、昭和七年法律第十二號中改正法律案、日本銀行條例中改正法律案、日本銀行參與會法廢止法律案、東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案、以上六件ヲ議題ニ致シマス、政府側ノ詳細ナル提出理由ヲ御説明ヲ求メマス

○結城國務大臣 昭和十二年度一般會計歳

出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、昭和十二年度一般會計ニ於キマシテ、既ニ成立シテ居リマス公債法ニ依リ發行スル公債金額、竝ニ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲發行スル公債金額ノ外、歳入ノ不足ヲ補填スル爲、四億八千七百五十萬圓ヲ別ニ起債スル權能ヲ得ル必要ガアルノデアリマス、即チ昭和十二年度一般會計ノ歳

出總額二十八億四千三百九十餘萬圓ニ對シ、普通歳入二十億四千三百十餘萬圓ヲ充當シテ、尙ホ不足スル七億七千八百餘萬圓ハ、公債財源ニ依ル必要ガアルノデアリマスルガ、此ノ内既ニ成立シマシタル公債法ニ依リ起債シ得マスル震災善後公債七百三十五萬餘圓及ビ道路公債千五百九十九萬餘圓、竝ニ

別途昭和七年法律第一號中改正法律案ニ依リ、新ニ起債シ得ルコト、ナリマスル滿洲事件公債二億六千五百四十六萬餘圓ヲ差引キ、四億八千七百四十萬餘圓ハ、別ニ之ヲ起債スルノ必要ガアルノデアリマス、尙ホ昭和十二年度ノ歳出ニ於キマシテモ、其ノ中若干ノ金額ハ、例年ノ如ク翌年度ニ繰越サル、モノガアラウト存ゼラレマスルガ、其繰越額ノ財源ハ必シモ十二年度内ニ起債スルコトヲ必要ト致シマセヌ爲、翌年度ニ於テ發行シ得ルコト、爲スヲ適當ト認メマシテ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

昭和七年法律第一號中改正法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、滿洲事件ニ關スル經費ニ關シマシテハ第六十一議會、第六十二議會、第六十四議會、第六十五議會、第六十七議會及第六十九議會ノ協賛ヲ經、昭和十一年度迄ノ當該經費ノ財源トシテ、總額九億九千四百五十萬圓ヲ起債シ得ルコト、相成テ居リマスルガ、事件ノ延長ニ伴ヒマシテ、昭和十二年度ニ於テモ滿洲事件費トシテ一般會計ニ於テ二億八千四百九十七萬餘圓、關東局特別會計ニ於テ二百三十四萬餘圓ヲ必要トスルノデアリマス、右ノ内特別會計ノ分ハ全

部普通財源ヲ以テ支辨致シマスルガ、一般會計ノ分ニ付キマシテハ、此内ヨリ滿洲國國防費分擔金受入等、合計千九百五十一萬餘圓ヲ差引キマシタル二億六千五百四十六萬餘圓ヲ、從來ノ如ク公債財源ニ依ルコトト致シマシタル爲、現行ノ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律ニ依ル發行限度ヲ、二億六千五百五十萬圓ダケ増加スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シテ次第アリマス

昭和七年法律第十二號中改正法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、昭和六年來ノ滿洲事變ノ影響ニ因リマシテ、事業ノ經營ガ甚ク困難トナリ、又ハ不能ニ陥リマシタル支那在留邦人ニ對シ、事業復興資金トシテ貸付クル爲ニ造幣局資金ヨリ拂出シマシタル約五萬貫ノ銀地金ハ、其拂出ノ日ヨリ五年以内ニ、一般會計ノ負擔ニ於キマシテ補填スルコトニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、一般會計ニ於キマシテハ歲入補填ノ公債ヲ發行致シテ居ルヤウナ次第デアリマスルノデ、此五年以内トアルヲ貸付銀ノ償還ニナリマスル昭和二十二年年度末迄延期シ得ルヤウニ改メヨウト云フノガ、本改正法律案ノ趣旨デアリマス

次イデ日本銀行條例中改正法律案及日本銀行參與會法廢止法律案ニ付テ御說明ヲ申上ゲマス、先ヅ日本銀行條例中改正法律案ノ要點ハ、日本銀行ニ新ニ參與理事ヲ置クコト、竝ニ理事及監事ハ大藏大臣ノ許可ヲ受クル時ハ、他ノ銀行會社等ノ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ルコト、致シマシタル二點デアリマス、先ヅ參與理事ノ設置ニ付テ申上ゲマス、日本銀行ノ條例ハ現行制度ニ於キマシテハ、總裁及副總裁共ニ業務ヲ綜理シテ居ルノデアリマスルガ、同行ノ業務ハ頗ル煩雜多岐ニ互ツテ居リマスノデ、其運営ニ付テハ廣ク財界ニ於ケル練達堪能ノ士ノ意見ヲ徵シ、同行ノ機能ヲ一層發揚セシムルコトガ緊要ト認メラレマスノデ、新ニ參與理事ヲ置クコト、致シマシタル、參與理事ハ其候補者ヲ株主總會ニ於テ選舉致シマシテ、大藏大臣ガ任命スルノデアリマス、其任期ハ二箇年デアリマス、又參與理事ハ金融政策ノ決定等重要ナル業務ニ付キマシテ參與致シマスノデ、任期中新ニ他ノ銀行會社等ノ常務ニ從事セントスル場合ハ、大藏大臣ノ許可ヲ要スルコト、致シタルノデアリマス、ソレカラ理事及監事ノ兼職ノコトデアリマスガ、現行法ニ依レバ日本銀行ノ理事及監事ハ、任期中他ノ銀行又ハ會社等ノ役員ヲ

兼スルコトハ、絕對ニ許サレナイコトニナツテ居ルノデアリマス、併シソレデハ實際上ニ於テ不便デアリ、同行ト財界トノ聯繫ヲ緊密ナラシムル爲ニハ、他ノ特殊銀行等ノ重役ヲ兼ヌルヲ適當トスル場合モアリマスノデ、大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ、之ヲ爲シ得ルコト、致シマシタル

次ニ日本銀行參與會法廢止法律案ニ付テ御說明申上ゲマス、日本銀行參與會ハ御承知ノ通り、日本銀行ト財界トノ聯繫ヲ緊密ナラシメンガ爲、昭和七年法律第十一號ニ依リ設ケラレタルモノデアリマスガ、前述ノ如ク日本銀行條例ニ改正ヲ加ヘマシテ、參與理事ヲ置クコト、致シマシタル以上ハ、參與會ヲ存置セシメ置クノ必要モアリマセヌノデ、此際之ヲ廢止致スコトヲ適當ト認メマシテ、本案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス

兼スルコトハ、絕對ニ許サレナイコトニナツテ居ルノデアリマス、併シソレデハ實際上ニ於テ不便デアリ、同行ト財界トノ聯繫ヲ緊密ナラシムル爲ニハ、他ノ特殊銀行等ノ重役ヲ兼ヌルヲ適當トスル場合モアリマスノデ、大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ、之ヲ爲シ得ルコト、致シマシタル

次ニ日本銀行參與會法廢止法律案ニ付テ御說明申上ゲマス、日本銀行參與會ハ御承知ノ通り、日本銀行ト財界トノ聯繫ヲ緊密ナラシメンガ爲、昭和七年法律第十一號ニ依リ設ケラレタルモノデアリマスガ、前述ノ如ク日本銀行條例ニ改正ヲ加ヘマシテ、參與理事ヲ置クコト、致シマシタル以上ハ、參與會ヲ存置セシメ置クノ必要モアリマセヌノデ、此際之ヲ廢止致スコトヲ適當ト認メマシテ、本案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタル通り、農業教育ノ普及及徹底ヲ圖リマスル爲ニ、現在ノ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ヲ、昭和十二年度ヨリ獨立セシメマシテ、東京農業教育專門學校ヲ創設シマスル關係上、昭和十一年

度末現在ノ東京帝國大學資金ノ内、右ノ農業教員養成所ノ用ニ供シマスルモノ、昭和十一年度東京帝國大學ノ歲入殘餘ニシテ同帝國大學農學部附屬農業教員養成所ニ關シ生ジマシタルモノハ、之ヲ學校及圖書館資金ニ編入スル等ノ規定ヲ設クル必要ガアリマス、之ガ爲メ帝國大學特別會計ト學校及圖書館特別會計トノ關涉ニ關スル本法律案ヲ、提出致シタル次第デアリマス、以上御說明申上ゲマシタル諸案ニ付キマシテ、何卒御審議ノ上御賛成アラシムコトヲ希望スル次第デアリマス

○田村委員 只今御說明ノ法案ニ關シテ、政府ニ少シ御提出願ヒタイ資料ガアリマスカラ、後程書面デ要求致シタイト思ヒマス

○木暮委員長 ソレデハ只今大藏大臣ヨリ御説明ガゴザイマシタル六案ノ中、日本銀行條例中改正法律案及日本銀行參與會法廢止法律案、此二件ハ後廻シニシマシテ、他ノ四件ニ對スル質疑ヲ始メタイト思ヒマス、通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス——宮澤胤勇君

○宮澤胤委員 私ハ公債政策ニ付キマシテ、一二大藏大臣ニ御尋フ致シタイノデアリマス、既ニ豫算ガ通過致シマシテ、此度

ノ赤字公債ハ、此額ヲ如何トモスルコトハ出來ナイ事情ニアリマスルガ、私共ハ此公債ヲ果シテ政府ノ豫期通り、消化出來ルカ出來ナイカト云フコトニ、一ツノ疑問ヲ持ッ

テ居リマス、又假ニ之ヲ消化セシムルト致シマスレバ、金融各方面ニ摩擦ヲ甚シク起スコトガナクシテ、之ヲ消化出來ルカドウ

カト云フ點ニ付テ、疑ヲ有ッテ居ルノデアリマス、就キマシテハ、先日來豫算總會其他本會議ニ於テ、大藏大臣ノ御説明ニ依リマ

スト、或ハ金融統制トカ、或ハ資金ヲ統制スルト云フヤウナ、成ベクサウ云フ手段ヲ

避ケテ、サウシテ此公債ノ消化ヲ圖リタイ、斯ウ云フヤウナ御方針デアアルヤウデアリマ

シテ、私共ハソレハ結構ダト思フノデアリマスガ、併ナガラ今日ノ金融界ノ事情カラ

見マスト、昨年若クハ一昨年ニ於ケルヨリモ、産業資金ハ餘程多ク要ルノデハナイ

カ、其方ニ金ヲ取ラレル、隨テ金利モ或ハ段々上ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ疑

ガアリマスノデ、此殆ド九億圓以上ノ公債ヲ、將來ドウ云フ御方針ヲ募集セラレルノデアアルカ、先ヅ第一ニ今マデ通り日本銀行

ルガ、ソレデ此公債ガ圓滑ニ募集出來テ行クト云フ、大體ノ見透シガ著イテ居ルノデアリマスカ、或ハ是ガ爲ニ金利ヲ上ゲルト

カ、公債ノ發行條件ヲ變ヘルトカ、サウ云フヤウナコトマデモシナケレバ、出來ナイ

ノデアリマスカ、是等ニ付テ極ク大體ノ一般的ノ御考ヲ承リタイ

○結城國務大臣 公債ノ消化ニ付キマシテハ、深甚ナル考慮ヲ拂ッテ居リマシテ、非常

ナ大切ナ問題ト思ヒマス、此頃マデノ狀況ニ依リマス、中々發行シタ公債モ賣レマ

セヌシ、又新ニ發行ヲ致シマスニシテモ、容易デナイ狀況ニアルノデアリマス、此上

ニ更ニ數億ノ公債ヲ消化スルト云フヤウナコトハ、此儘ニシテ居ッテハ、是ハ中々難カ

シイト思フノデアリマス
〔委員長退席、小谷委員長代理著席〕
併ナガラ、ソレト同時ニ又生産ノ擴充ヲ致シマスルト、自然ニ此産業資金ノ方ニ流

レ出マス金ガ多クナリマス、隨テ公債ノ方ニ向フ金ガ少クナル、是ハ此前モドナタカ

ニ御答シタカト思ッテ居リマス、一ツノ「ブール」中ニ入ッテ居ル金ガ決ッテ居ッテ、サ

ウシテ一部分ハ産業資金ノ方ニ向ク、其分量ガ多ケレバ多イ程、片一方ノ公債ニ向ク

金ガ少イト云フヤウナ、キチントシタモノデハナイト私ハ思フノデアリマシテ、其邊

ハ産業資金ニ向フト同時ニ、公債ノ方ニモ向ケ得ルヤウナコトニ、考ヘ導イテ行クコ

トガ出來ルト、斯ウ思フノデアリマスガ、併シ何レニ致シマシテモ、只今ノヤウナ狀況

デアリマス、公債ノ消化ハ中々困難デアリマス、ドウシテモ一面ニ於キマシテハ貯

蓄ト申シマスカ、國民ノ貯蓄力ヲ涵養スル方策ヲ執ッテ行クコトモ大切デアリマス、同

時ニ投資方面ニ於キマシテ、別ニ行政手段トカ、立法手段トカ云フヤウナコトデナン

ニ、其邊ハ國策ニ順應シテ、各方面トモ皆同ジ理解ノ下ニ、同ジヤウナ方針デ動イテ

行クト云フヤウナコトヲ努メマスルト、自然ニ——マア極端ナ例ヲ申シマス、愛國

公債ト云フヤウナ場合ニナリマスルト、非常ニ舉國一致ニナリマスノデスガ、ソんな

極端ナコトヲ考ヘマセヌデモ、政府ノ方針、又現在ノ日本ノ情勢ト云フモノニ理解ヲ

有ッテ貰ッテ、ドウシテモ歳出ガ多クナル、ソレニ對シテ租稅ヲ増フト云フコトニハ、

自ラ限度ガアル、暫ラクノ間ハ赤字公債デアリカナケレバナラヌカラ、ソレハ單ニ算盤

ト云フ關係ダケデナシニ、自分達モ手傳ハナケレバナラヌト云フヤウナ氣持デ行クコ

トニナルト、全國ノ金融機關其他ガ協調シテ參リマスルコトニナルト、餘程消化ヲ助

クルコトニナラウト存ジマス、又持チマシタ公債ヲ窃ニ賣ッテ、市價ヲ下ゲルヤウナコトナドモ無クナルグラウト思フ、市價ガ下

リマセヌケレバ、公債ノ消化ハサウ難儀デ

ナク出來ルト思フ、發行ガシニクイカラト

申シマシテ、直グニ此處デ發行條件デモ變

更致シマスルコトニナルト、其影響スル所

ガ中々大キイノデアリマシテ、直チニ既發

公債ノ市價ニ關係ヲ致シマスルカラ、是ハ

モウ容易ニ致スベキコトデハナイノデアリ

マス、マア日本銀行ガ中心ニナリマシテ、

各種ノ金融機關、其他投資方面ニ於テモ、

其邊ノ協調ヲ能ク保ッコトニナッテ行ク一面

ニハ、國民ノ貯蓄ヲ獎勵スルヤウナ方法ヲ

執ル、同時ニ其一ツノ方法デアリマス郵便

局カラ公債ヲ賣出スト云フヤウナコトナド

モ、是ハ公債ノ民衆化ト申シマスカ、公債

ヲ國民ニ持ッテ貰フト云フ辭ヲ附ケルコト

ニナラウト思ヒマス、賣レ高ハ大シタコト

ハナイデセウガ、自然ニサウ云フ風ナ馴染

ヲ附ケルコトニナラウト思ヒマス、ソんな

コトヤラ色々ヤリマシタナラバ、其中ニ市

場ノ狀況ニ非常ナ變化ガアル場合ハ、是ハ

到底難シイコトデアリマスガ、サウ云フコ

トガナイトスルナラバ、此位ノ公債ノ消化

ハ、現在ノ日本ノ貯蓄力ノ増進致シマス力
カラ見マシテ、サウ無理デハナカラウ、方法
ト致シマシテハ御話ノヤウニ、日本銀行ガ
一應引受ケマシテ、サウシテ各銀行ニ、各
金融機關ニ之ヲ賣リマスツカ、或ハ場合ニ
依ッテハ、ソレ等ノ公債ヲ引當テニ貸出シモ
容易ニスルコトガ出来マセウシ、又「オーブ
ン・マーケット・オペレーション」ハ必シモ賣
ルダケデナシニ、買フ方ニモ、働キ得ル場合
ヲ想像シ得ルノデアリマス、ソナコトヲ
致シマシタルコトニナレバ、マア相當ナ
高ハ消化シ得ルカト、斯ウ考ヘテ居ル次第
デアリマス

○宮澤(胤)委員 此公債消化ノ問題ハ、恐
ラク大藏大臣ガ物價騰貴ノ問題ト共ニ、一
番御苦心ヲナサツテ居ル點デアラウト私ハ
思フノデアリマス、隨テ既ニ是ダケノ、本
年度ニ於テモ公債ハドウシテモ必要デア
ル、之ヲ旨ク摩擦ヲ起サナイヤウニ、消化
サセナケレバナラナイト云フコトハ、官民
一致ノ此努力ニ依ッテ、之ヲ何トカサセナケ
レバナラヌト云フコトハ、私共モ左様ニ考
ヘテ居リマス、隨テ徒ニ此公債政策ニ對シ
テ議論ヲ闘ハシテ、ソレガ財界ニ悪イ影響
ヲ及ボスト云フヤウナコトハ、私共非常ニ
慎マナケレバナラヌト考ヘテ居ル、併ナガ

ラ今年度ダケデ是ガ終ッテシマフモノデア
ルナラバ、又何トカ各方面ニ對スル悪イ影
響ヲ、我慢スルコトモ出来ルノデアリマス

ケレドモ、十三年度以後引續イテ多額ノ公
債ガ出ルト云フ日本ノ現狀ニ於キマシテ
ハ、今日ノ事情ニ於キマシテハ、此公債政策
ト云フモノヲ非常ニ無理ヲシテ、何處マデ
モ行クト云フコトデアッテハ、何處カへ行ッ
テ私ハ躡キガ起ルノデハナイカ、斯ウ云フ
ヤウナ點カラ、此公債政策ニ對シテハ、相
當ノ範圍ニ於テ政府ノ方針モ國民ニ知ラシ
メ、又其成行ニ付テモ、關係者ガサウ云フ
政府ノ方針ノ下ニ、注意ヲ怠ラナイヤウニ
協力シテ行クト云フ意味ニ於テ、私ハ此公
債政策ニ對シテ、相當ニヤハリ議會ニ於テ
議論ヲ闘ハシテ、サウシテ國民ノ據ル所ヲ
知ラシメルト云フコトガ必要デハナイカ
ト、斯ウ考ヘルノデアリマス、就キマシテ
ハ先ツ第一ニ簡單ニ御尋ヲ致シタイノハ、
無論先程大藏大臣ノ御話ノヤウニ、或ルー
定ノ額ガアッテ、ソレヲ産業資金ニモ分ケ
ル、或ハ公債ニモ分ケル、地方債ニモ分ケ
ルト、斯ウ云フモノデハナクテ、ソレハ動
キノ相當ニ融通ノ利クモノデアルト云フコ
トハ、考ヘラレマスケレドモ……

〔小谷委員長代理退席、佐藤委員長代

議理著席〕

今日ノ此産業資金並ニ公債、社債、其他
ノ、此國民貯蓄ヲ目當テトシテ、必要トセ
ラレル各方面ノ資金ト云フモノハ、其金額
ガ國民貯蓄ト比較致シマシテ、私共ガ考ヘ
ルト、意外ニ多イ、ソコニ連モ融通ハ付カ
ナイト云フ程、片方ノ金額ガ多イノデア
カ、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレハ僅カ
ナ金額デアレバ、是ハドウニカナッテ行ク
ダラウト云フコトモ考ヘラレルノデアリマ
スガ、中々僅カナ金額デナイ、斯ウ云フ風
ニ考ヘラレルノデアリマス、隨テ今マデノ
政府ノ公債政策ノ儘デ行クト、無論是レニ
ハ、或ハ、銀行業者、信託業者、保險業者
等ニ、ソレノ大藏大臣ハ協力ヲサセテ、
サウシテ或ル程度ニ公債消化ヲ可能ナラシ
メル手段ヲ講ゼラレルノダラウト思フノデ
アリマスケレドモ、サウ云フヤウナ手段ヲ
講ジテ行ク程度ニ於テ、果シテ此公債ノ消
化ガ圓滿ニ行クカドウカト云フコトニ、私
共ハ疑フ有ッテ居ルノデアリマスガ、ソレハ
何ンデアアルカト申シマス、例ヘバ滿洲ニ
行キマス資金、ソレカラ今度一般ノ此物價
騰貴ニモ伴ヒ、事業擴張ニモ伴ヒ、民間ニ必
要トセラレル資金ト云フ點カラ考ヘマシテ
モ、滿洲ニ行ク金ハ成程三億カ四億ノモノ

デアリマスケレドモ、日本ノ此内地ノ事
業界ニ新シキ資金トシテ要求セラレルモノ
ハ、昨年若クハ一昨年ノ倍クラキニナルノ
デハナイカト私共ハ思フ、大マカナ見當デ

其位要ルノデヤナイカト、斯ウ考ヘテ見マ
スルト、九億ノ公債ニ更ニ増稅ヲスル、サ
ウシテ是等ノ資金ヲ賄フト云フコトニナル
ト、ドウモ是ハ出ドロコガナイ、斯ウ云フ
風ニ考ヘルノデアリマス、隨テ若シ之ヲ此
儘デ押シテ行ツタノデハ、現在ニ於テサヘモ
公債ノ賣行ガ悪イノデアリマスカラ、此儘
デ押シテ行ツタノデハ、非常ニ先ガ暗イヤ
ウナ感じガ致シマスガ、之ニ對シテ大體ノ
極ク大マカナ據リ所ノアル御話ヲ、承ル譯
ニハ行カナイノデアリマスカ

○結城國務大臣 此生産ノ擴充ト云フヤウ
ナコトカラ、産業資金ニ巨額ノ需要ガアル
ト云フコトハ、御考ノ通りデアラウト思ヒ
マシテ、私ハ御察シノヤウニ去年ノ倍額モ
要ルカモ知レヌト云フコトハ、或ハ當ッテ居
ルカトモ考ヘマス、又滿洲方面ニ對シテノ
資金ノ流れ、是ハ國際貸借ノ上カラ申シマ
シテモ、大切ナ問題デアアルノデアリマス
ガ、是ハ大藏省トシテモ常ニ注意ヲ怠ラヌ
デ居ルノデアリマス、同時ニ又物價騰貴其
他ノコトカラ、資金ヲ多ク要スルト云フヤ

ウナコトデ、或ハ公債ノ消化ガ難シクナラヌカト云フコトノ御懸念、是ハモウ一應モ二應モ御尤デアルト思フデアリマスガ、併シ私ハ、今年ダケヂヤアリマセヌ、今後數年ニ亙ッテノコトデアリマスルガ、日本ノ此經濟力カラ申シマシテ、又國民貯蓄ノ増加力カラ申シマシテ、又銀行其他ノ金融機關ノ持前カラ考ヘマシテ、國ノ財政ニ對スル信賴ト云フモノガ、弱マルコトガナイト致シマシテ、サウシテ投資其他ノ方面ニ於テ能ク理解ヲ持ッテ、協力ヲ致シマスコトニナルト、最近ニ十億内外ノ公債ノ消化ハ、ドウモ今マデノ私共ノ、腰ダメト申シマスガ、經驗カラ申シマシテ、サウ難シクナイヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレナラバドウ云フ事ヲ土臺ニシテ、サウ云フ風ナコトヲ考ヘルカト、斯ウ云フコトニナリマス、ト、數字のニ之ヲ解釋致シマスコトニナルト、中々議論ガ多イ、又ソレニ依ッテ同ジ結論ヲ得ルコトガ、難カシイコトニナラウト思フノデアリマスガ、是ハサウ理論的ニ申シマセヌデ、サウシテ其時ノ市場ノ狀況ヲ惡化サセナイヤウニ、又公債ニ對スル信用——土臺ハ國ノ財政ニ對スル信賴デアリマスガ、サウ云フモノニ信賴ヲ弱メルヤウナコトヲ致シマセヌデ行

ケバ、サウ悲觀シタモノデハナカラウ、斯様ナ考ヲ以テ御話ノ通り、公債ノ消化ト物價問題ト國際貸借ノ問題ト云フモノハ、當面ノ金融問題ト致シマシテハ、一番重大ナ問題デアリマスガ、併シ日本ノ經濟力カラ申シマシテ、其邊ノ所ハ無理ヲセヌデモ、ドウニカ旨ク行ケルモノヂヤナカラウカ、又必シモ獨逸ガヤッテ居ルトカ、何處ガドウダトカ云フヤウナ眞似ヲ致シマセヌデモ、私ハ日本ノ經濟界ニ於テ、此位ノコトノ消化ガ出來ナイコトハナイト、コンナ風ニボンヤリ考ヘテ居リマシテ、出來ルダケノコトヲ努メタイト思ッテ居ル次第デアリマス

○田川委員 私ハ差シ出口デアリマスガ、只今隨分影響ノ多イ「デリケート」ナ問題ノヤウニ思ヒマスガ、寧ロ速記ヲ止メテ戴イタ方ガ、御話ガ仕易イノデアアリマセヌカ

○佐藤委員長代理 速記ヲ中止致シマセウカ

○結城國務大臣 私トシテハ誰ガ聽イテ下スツテモ、一向構ハスト思ヒマス

○宮澤委員 大藏大臣ノ大體ノ御考ヘ方ハ私共モ分リマス、又サウナッテ行ッテ賞ヒタイト思フノデアリマスガ、併シ若シソレガ行キ損ナッタヤウナ時ニハドウナルカト云

フト、大變ナコトニナル、成程日本ノ經濟力ト云フモノハ、最近大クナリマシタ、一方カラ考ヘマス、大藏大臣ノ御話ノヤウニ十億位ノ公債ハ、ソシナニ心配セナンデモ宜イヂヤナイカト云フ考方ガアルト同時ニ、他面カラ申シマス、昨年ノ暮ニ大藏大臣ガ興業銀行總裁トシテ、短期ノ市場ニ乗り出シテ一時的ニ之ヲ救ッタト云フコトヲ爲サツタ通り、僅カ一億五千萬圓ノ金ガ詰ルカ詰ラナイデ、日本ノ金融界ハ非常ナ變化ヲ捲キ起スト考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ヲ考ヘマス、是ハヤハリ萬全ノ策ヲ考ヘテ行カナケレバナナイト思ヒマス、是ハ私ノ質問ヲ續ケル順序トシテ、一ツ大藏大臣ノ御考ヲ伺ヒタイノデ

日本ノ經濟界デニ億ヤ三億ノ兌換券ガ膨脹シタカラト云ッテ、決シテ之ガ爲ニ物價騰貴ヲ來ストカ、或ハ「インフレ」ヲ進行サセルヤウナコトハナカラウ、事業界ハ實際ニ金ヲ必要トシテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フコトデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ兌換券モ或ル程度マデハ膨脹シテ行ク、ソレモ是認シテ行ク、ソレカラ産金ノ買上ゲモ引續イテ出來ルダケハヤッテ行ク、サウ云フ方面カラモ兌換券ハ膨脹シテ行ク、ソレモ或ル程度マデハ之ヲ是認ラシテ、ソレデ大シクコトハナカラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ、段々押シ進メテ行キマシテモ、ドウモ是ハ十億ノ公債ノ消化ノ方面ヲ抑ヘルカ、若クハ産業界ノ膨脹スル資金ヲ抑ヘルカ、何處カラ抑ヘテ調節シテ行カナイト、是ハ飛ンデモナイコトガ起ルノデハナイカ、ソレハ大體ハ私共モ起ラナイデ行クノデアラウトハ思フノデスガ、萬一ノ場合ヲ考ヘルト、其處ニ非常ニ危惧ノ念ヲ抱クノデアリマス、一ツヤリ損ヘバ取り還シガ付カナイノデアリマスカラ、是ハ相當ニ慎重ニ考ヘテ行カナケレバナラス、私共極ク大體ヲ考ヘマス、公債ト新シイ資金ト、滿洲へ出ルモノト、總テ今年ハ二十五六億圓位金ガ必要デハナイカトマデ考ヘラレ

ノデアリマスカラ、サウスルト中々今ノ國
民貯蓄ノ十五億ヤ十七億ノモノガ乗ッテ來
マス、ソコハ連モ二億ヤ三億ノ違ヒデハ
ナイ、何處カ、ラ是ハ抑ヘナケレバナラヌ、
所ガ之ヲ抑ヘルト云フコトニナリマス、
金融統制トカ資金統制ト云フコトヲ言ヒマ
スガ、實際ノ手段トシテドシナコトヲスル
ノカ、私承知致シマセヌ、外國デヤッテ居ル
ヤウナコトヲ眞逆ヤル譯ニモ行キマスマイ
ガ、今ノ儘ノ公債政策——今ノ儘ト言ヘバ
大體日本銀行ヲシテ賣ラセルノデアリマス

ガ、日本銀行ノ所謂市場政策ト云フモノ
ハ、政府ノ政策デハナクシテ、唯公債ニ興
味ヲ持タセテ、市場化スルヤウナ形ニシテ
居リマスカラ、市場カラ之ヲ買ヒニ來ルト
云フダケデ、政府ノ政策ト云フモノデハナ
シニ、全ク成行キニ任シタツノ手段デハ
ナイカト思フノデアリマス、サウスルト政
府ガ公債政策トシテ今考ヘテ居ルモノハ、
唯何トカナルダラウト云フダケデアッテ、其
處ニ政府ノ公債消化ノ政策ト云フモノハ、
何ニモ現レテ來ナイ、是ハ現レテ來ナクテ
消化ガ出來レバ、ソレガ最上デアリマス、何
等カノ政策ヲ御執リナサイト私ハ申上ゲル
ノデハアリマセヌガ、其處ニ何等カノ方針
ガナクテ、唯漫然トドウカナルデアラウト

云フコトダケデ、數字ニ基イテ見ルト結局
ドウニモナラナイト云フヤウナ方面ニ、私
共ノ調査ハ向イテ行クノデアリマス、隨テ
心配ヲシテ御尋ヲスル、斯ウ云フ譯デアリ
マス、併ナガラ是ハサウ云フ議論ヲ續ケマ
シテモ已ムヲ得マセヌカラ、次ニ一々ニ就
テ伺ッテ見タイト思ヒマス、詰リ私ガ只今申
上ゲタ公債政策、何カ幾ラカ方法ヲ變ヘタ
出動ヲ、政府ガ爲サル御考ガアルノデアリ
マスカ、ナイノデアリマスカ、御聽キシテ
置キマス

○**結城國務大臣** 簡單ニ質問ニ御答スルト
云フコトダケデハ、私ハドウモ共ニ國政ヲ
議スルト云フヤウナ氣持ニナリマセヌノ
デ、餘計ナコトニ涉ルカモ知レマセヌガ、
申上ゲタイト思ヒマス、今ノ生産資金ノ御
話ガアリマシタガ、是ハ興銀ヲ通ジテ日本
銀行ガ出ス、斯ウ簡單ニ御考ヘニナルト違
フノデアリマス、詰リマア生産資金、産業
資金ト申シマスカ、主トシテ是ハ長期ノ資
金ニ依ルベキモノデアル、サウスルトヤハ
リ社債ト云フコトニ行クベキモノデアル、
社債ヲ發行致シマス時ニ「シンヂケート」ト
云フモノハ其引受ヲ致シマスガ、是ハ力ガ
アルガ手足ノナイ連中デアリマス、ソレカ
ラ其下ニ「アングラーライター」是ハ手足ガ

アッテ力ノナイ連中デアッテ、方々ノ保險會
社トカ其他ニ行ッテ、社債ヲ賣込ムノデア
リマス、ソレデ社債ヲ引受ケ發行致シマス
時ニ、市場ノ狀況ガ惡イ時ニハ其「アング
ラーライター」ノ手持ニナッテ、金詰リヲ來ス
ヤウナ場合ガ往々アルノデアリマス、サウ
云フ場合ニハ「シンヂケート」ハ手足ガナイ
ガ、力ガアルノデアリマスカラ、サウ云フ
所デソレ等ニ對シテ面倒ヲ見テ行ク「シン
ヂケート」ニ致シマシテモ、限りナキ力ヲ
持ッテ居ル譯デハナイノデアリマスカラ、ソ
レガ結局ノ所、日本銀行ト連絡ヲ取ッテ、日
本銀行ガ年末デアルトカ、或ハ期末デア
トカ云フヤウナ時ニ、ソレヲ面倒ヲ見テ行
ク、斯ウ云フ連絡ヲ取ルコトガ産業資金ニ
對シテ、日本銀行ガ援助ヲスルト云フコト
ノ形ニナルデアラウ、其實ヲ舉ゲルコトニ
ナルデアラウト思フノデアリマス、隨テホ
ンノ一時ノ融通デアリマスルカラ、日本銀
行ノ兌換券ノ發行ガ、其爲ニ増加致シマシ
テモ、決シテ「インフレーション」ヲ起ス
カ、所謂通貨膨脹ノ結果、惡性「インフレ」ト
カ云フヤウナ懸念ガナイノデアラウト思フ
ノデアリマス、直接ニ産業界ニ對シテ出ス
コトデモナケレバ、又興銀ヲ通シテ出スト
云フコトモ、少シ其邊ガ異ッテ居リマス、併

シ何レニ致シマシテモ産業資金、生産資金
ト云フモノガ出テ參リマス、ソレノ需要ガ
多クナル、隨テ公債其他利廻ノ惡イモノニ
對スル需要ガ減ッテ來ル、併シ例ヘバ普通銀
行ニ致シマシテモ、サウデアリマスガ、殊
ニ貯蓄銀行デアリマストカ、保險會社デア
ルトカ、信託會社デアルトカ云フヤウナ、
單ニ利廻ダケヲ考ヘナイデ、ヤハリ確實ナ
ル準備ヲ持ツト云フヤウナ氣持デ公債ヲ持
ツ機關ト云フモノハ、中々多イノデアリマ
ス、金融機關以外ニモ幾ラモサウ云フモノ
ガアリマスガ、是等ガ株ノ景氣ガ好イカラ
算盤ヲ取レバ其方ニ行クノダ、斯ウ云フ風
ナ時ニ、若シモ利廻ハ惡イガ確實ナルモノ、
サウシテ之ヲ持ツト云フコトハ、結局ニ於
テ國策ニ順應シテ自分達モ一緒ニ奉公ラス
ルノダト云フヤウナ氣持ガ——公ケノ機關
ヲ經營スルモノトシテ、サウ云フ風ナ氣持
ヲ持ッテ貫フコトニナリマス、ソレハ相當
ナ消化力ガ日本ニハマダアルト、私ハ思フ
ノデアリマス、ソレデアリマスカラ、今マ
デノヤウナヤリ方ヲ變ヘマセヌデモ、年々
相當ナ公債ノ發行ハ難シクナイ、私ガモット
強イ主張ヲスル男デアリマシタナラバ、ナ
ニ心配ナイカラ、ソシナコトハモウ議論ノ
餘地ガナイト云フ位ノコトヲ、言フカモ知

レマセヌガ、マア一緒ニ心配スルト云フ意味ニ於テ、先刻カラモ斯ウ云フ風ナ、少シ弱音モ吐イテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、モウ心配ハナイト私ハ思フテ居リマス、別ニ公債政策ト云ツテ、サウ云フ風ナコトニ付テ、特殊ノコトヲ考ヘヌデモ大丈夫ダ、併シサウ云フ風ニシテ行クニハ、色々根本ニ於テ、又枝葉ニ於テ、其邊ノコトニ付テノ處理ヲシナケレバナラスコトガ、中々アルト思フノデアリマス、日本銀行ヲドウシテ行クカ、斯ウ云フ風ナコトダケデモ、是ハ容易ナラヌ問題デアアリマスルガ、ソコガ一ツ土臺ニナツテ、サウシテ各金融機關ガ一緒ニナツテ、働イテ行クト云フヤウナコトヲ色々根本的ニ考ヘ、又枝葉的ニ考ヘマシテ、其邊ノ所ガ行クノデアリマスカラ、其邊ニ工夫ヲ致シマスレバ、公債政策ト云フヤウナコトヲ今特ニ考ヘマセヌデモ、今マデノヤウナ情況ニ於テ、私ハ御心配ハナイ斯ウ思フノデアリマス

○宮澤(胤)委員 大藏大臣ノ大體ノ御考方ハ、能ク分ッテ居ルノデアリマスガ、サウスルト斯ウ云フコトニ諒解シテ宜イノデアリマスカ、例ヘバ此十億圓ニ近イ公債ト云フモノハ、今後年々大シク差支ガナク消化出來ル、斯ウ云フコトデアリマス、ヤハ

リソレニ基イテ今後十二年度以降ノ日本ノ國策ト言ヒマスカ、陸海軍ヲ初メトシテ、各省ノ經費ト云フモノガ、組立テラレルノデアラウト思フノデアリマスガ、先ヅ大體ニ於テ十億圓ノ見當ノモノハ——今年ノ如キモ、マア増税モヤリマス、十三年度カラ又増税ヲヤリマス、其増税ノ外ニ十億圓位ナ公債ヲ募集シテ行クノニ、大シク困難ハ感ジナイ、困難ヲ感ジナイト申シマスレバ、例ヘバ先程御話ノヤウニ、發行條件モ惡クシナイデ行ケル、勿論發行條件ヲ惡クスルト云フヤウナ場合ニ立至レバ、重大ナ問題デアリマセウガ、サウ云フコトモナイ、又政府ガ所謂公債政策トシテ何等カノ出動ヲシナイデモ、大體行ケル、斯ウ云フヤウニ私共考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○結城國務大臣 只今ノ國際情勢カラ申シマスト軍備ノ充實ト云フコトニハ相當ノ金ガ要リマスルガ、社會的ノ施設其他疎カニスベカラザルモノガ、中々アリマスルカラ、私ハ歳出ハ急ニ減ルト云フコトヲ望ミ得ナイト思フノデアリマス、同時ニ租稅其他ノ國民ノ負擔ニ歸スルモノモ、此次ノ議會マデニ稅制ノ整理ヲ中央地方ヲ通ジテ致シマス覺悟デ居リマスルガ、整理ノ上カラ或ル程度ノ増徴ヲ來スヤウナ場合ガ、起ッテ

來ルカモ知レマセヌガ、歳入ノ増加ヲ目的トシテノ増稅ト云フコトハ、國民ニ對シテ私ハ忍ビナイコトデアリマス、ソレデ是ノ増徴、增收ト云フコトモ難シイ、サウスレバ何カ外ニ考ヘルコトガナイトスレバ、ドウシテモ此位ノ程度ノ公債ヲ暫ク發行スルヨリ外ナイヤウニ考ヘマス、併シ其他ハ考ヘラレヌカ、斯ウ云フ御尋デアルトスルト、果シテ實行ガ出來ルカ出來ナイカ、分リマセヌノデアリマスルガ、其他ノ國家ノ收入ニ於テ、考ヘラレルコトモアルノヂヤナイカト云フ風ニ、私ハ思フノデアリマシテ、今ソレヲ具體的ニ示セト云フコトヲ言ハレマス、困ルノデアリマスガ、併シ其邊ノ所ニ付テハ十分ニ考ヘナケレナバラヌ、サウシテソレノ實現ガ難カシイト云フコトデアレバ、ドウモ當分此位ノ程度ノ公債發行ハ、已ムヲ得ヌノヂヤナイカ、サウスルト公債ニ對スル信用ヲ落サナイヤウニスルト云フコトヲ、一面ニ努メテ行クコトガ、一番大切ナ問題デアリマシテ、場合ニ依ルト元利ノ償還ニ對シテ、相當ナ方法ヲ講ジテ信賴ヲ失ハナイヤウニシテ行クト云フコトモ、考ヘナケレバナラヌ、此政府ノヤリ方其他ニ對シテ國民ノ信賴ガ薄ライデ來ル、或ハ金融機關其他

ノ信賴ガ無クナツテ來ルト云フヤウナコトニナリマスレバ、モウ幾ラ公債ヲ出シタクテモ、一億ノ公債モ出セナクナツテ來ルヤウナコトニナリマスカラ、其邊ハ爲政者トシテノ信ヲ失ハナイヤウニ工夫スルトコトガ、根本デアラウト思フノデアリマス、色々ナ方策ヲ講ズルヨリハ、ヤハリ根本ヲ培フト云フ氣持で行ク、サウシテ當分ドウモ此位ノ公債ハ、外ノ歳入ヲ得ルヤウナ方法ヲ考ヘラレヌト致シマスレバ、此位ノコトハ已ムヲ得ヌノヂヤナイカ、ソレヲ消化シ得ルダケニ經濟界ヲ養フテ行クヨリ外ハナイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○宮澤(胤)委員 一寸只今ノ公債ノ元利支拂ニ對シテ、何等カ安心ヲ與ヘルヤウナ方法ト云フノハ、ドウ云フコトヲヤリマスカ

○結城國務大臣 只今ハヤツテ居リマセヌ、或ハヤツテ居ルカモ知レマセヌガ、詰リ減債基金デアルトカ、色々サウ云フコトニ對スル元利ノ償還ニ付テ、安心ヲ與ヘル方法デアリマス

○宮澤(胤)委員 減債基金ノ繰入ヲ近ク復活シテ、一般會計ノ分ニ於テモ、特別會計同様ニ、一ツ復活シヨウト云フ御考ヲ、只今持ッテ御居デニナリマスカ

○結城國務大臣 イエ、今直チニサウ云フ風ニシヨウト云フコトハ、考ヘテ居リマセヌガ、サウ云フコトモ考ヘナケレバナラヌヤウナ時モ、來ルカトモ思ッテ居リマス

〔佐藤委員長代理退席、委員長著席〕

○宮澤(胤)委員 大藏大臣ノ公債消化ニ關スル御考ヘ方ヲ伺ヒマス、政府ガ何等カ新シク特ニ公債消化ノ方法ト出動ハシナクテモ、金融機關ヲ初メ、公ノ立場ニアルモノガ、國家ノ此重大ナ時期ニ協力シナケレバナラヌト云フヤウナ考ヘ方カラ、公債ノ消化ハ出來ルデアラウト、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、或ハサウ云フ結果ニナッテ行ケバ結構デアリマスケレドモ、併シ私共金融機關ノソレノニ就テ考ヘテ見マシテモ、只今御話ノ生産資金ハ社債ニ依ルト、斯ウ云フコトデアリマシテ、其社債ノ公募ヲ致シテ、是ハマア興業銀行ガ世話ヲシテヤリマセウガ、其一部分ノモノハ日本銀行ガ其儘背負込シテ呉レンダ、例ヘバ一億トカ二億トカト云フモノヲ、日本銀行ガ背負込シテ呉レンダト云フ安心ガアレバ、社債ノ發行モ旨ク纏マルモノト、斯ウ考ヘマスガ、其點ハ日本銀行ニ、サウ云フ諒解ノ下ニヤラセルト云フコトデナクテ、從來通り單純ナ、生産資金ハ社債ニ依ッテ

何トカヤッテ行クノダト云フデアリマスカ、或ハサウ云フ社債發行ヲ圓滑ニスル爲ニ已ムヲ得ナイ場合ニハ、其尻ハ日本銀行ガ背負込シテ宜イト云フ御考デアリマスカ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

○結城國務大臣 背負込ムトカナントカ云フヤウナコトデアリマセヌ、是ハ今デモ或ル程度マデ、サウ云フ風ナコトガ出來テ居ルノデアリマスルガ、見返品程度ニ此社債或ハ株券ノ或ルモノヲ、日本銀行ガ見テ行ク場合ガアルノデアリマス、是ハ短期ノ融通デアリマス、何時デモ發行シテ賣レナイ場合ニ、其尻ヲ日本銀行ガ見ルト斯ウ云フ風ナ意味合デハナイノデアリマス、シンジケートニ其他ニ於テ見マシテ、尙ホ期末トカ年末トカ云フ時ニ、日本銀行モソレヲ見テ行ク、サウ云フコトニ付テノ連絡協調ガ、モット緊密ニナルコトニナレバ、大變ニ滑カニ行クノダラウト、斯ウ云フノデアリマシテ、社債ヲ發行スル、其實レナイ時ニ其尻ヲ日本銀行ガ背負込ムト、斯ウ簡單ニ考ヘラレマス、甚ダ誤解ヲ與ヘルコトニナリマス

○官澤(胤)委員 私ガ是ハ誤解ヲシテ居ルカモ知レマセヌガ、私共ハ背負込ムト云フ言葉ハ、或ハ悪イカモ知レマセヌガ、今日此金融情勢ノ下ニ何等カ安心ノ道ヲ付ケテ行クト云フコトハ、日本銀行ガモウ少シ積極的ニ操作ヲスルト云フコトデナケレバ、私ハ是ガ付イテイカナインノデヤナイカ、ソレハ一ツハ只今申上ゲタノハ、背負込ムカ背負込マヌカハ別トシテ、ヤハリ社債ノ發行ハ例ヘバ今年全體デ三億圓ノ社債ヲ發行シテ、其中一億圓ダケハ市場デ旨ク賣レナイ時ニハ、日本銀行ガ市場ノ模様ガ旨ク行クマデ、半年デモ一年デモ之ヲ擔保ニ取ッテ、社債ノ利廻カラシテ興業銀行ガ、ソレヲ取次ギ得ルヤウナ條件デ、市場ニ生産資金ヲ出ス、又一方一般ノ金融ニ致シマシテモ、例ヘバ昨年ノ暮頃ハ、一流ノ銀行ガ手許資金ガナクナッテ、自分ノ公債ヲ賣拂ッテ調達スル、サウ云フコトヲシテモ日本銀行ニハ金ヲ借りニ行カナイト云フヤウナ、今日ノ事情ニアルノデアリマスガ、ヤハリ私ハ日本銀行ト一般銀行ノ間ニ、株券デモ公債デモ持ッテ行ッテ、モット簡單ニ日本銀行ノ金ヲ使フ習慣ヲ付ケテ、斯ウ云フ事柄ニハ日本銀行ガ積極的ニ出テ行クノゾナイト、私ハ今日ノ此多難ナ金融ヲ切抜ケルコトハ困難デハナイカ、所ガ日本銀行ノ點ニナルト、大藏大臣ヲ初メ各方面デ、何カ日本銀行ニサウ云フコトヲサセルコトハ、非

常ニ惡イコトノヤウニ考ヘテノ御意見ガアルノデアリマスガ、是ハ何カサウ云フヤウナ、日本銀行ハ短期ノ金融ヲ融通スルト云フコトデアリマシタナラバ、サウ云フコトガ非常ニ日本銀行ノ信用ノ上ニ、若クハ其他ニ、惡イコト、御考ヘデアリマセウカ、其點ヲ御教ヲ願ヒタイノデアリマス

○結城國務大臣 日本銀行ガ積極的ニ産業資金ヲ出スト云フコト、是ハ何モ惡イ譯デハアリマセヌガ、根本ニ於テ守ラナケレバナラヌコトハ、長期ノモノヲ出ストカ、或ハソレガ固定スルト云フト惡イ意味ニナリマスガ、サウ云フ風ナ傾キヲ持ツモノヲ發行銀行ガ出スト云フコトハ、是ハ嚴ニ戒メナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、社債ヲ發行致シマスニモ「シンジケート」ノ方デ、市場ノ狀況ガ是ハ今此條件デ出セバ賣レルト云フ見込ヲ以テ、出スコトガ必要デアリマシテ、賣レナイト云フ見込ガアルモノヲ賣出シテ、サウシテ其中ノ一億ナラ一億ト云フモノヲ、日本銀行ニ持ッテ賣フト云フヤウナ考ヲ初メカラ持ツコトハ、間違ッテ居ル、賣レル積リデ出シタガ、其時分ニ市場ノ狀況ガ緊縮ヲシタトカ、或ハ變化ヲシタトカ云フヤウナ場合ニ、短期ノ融通ヲソレニ依ッテ付ケテ行

ク、ソレハ「シンヂケート」デモ付ケマセウシ、日本銀行デモ付ケテ行クト云フヤウナ連絡ヲ取ル、是ハ今モ或ル程度マデ行ッテ居リマスガ、併ナガラ今迄ノ日本銀行ノ立

フ資金ノ圓滑ヲ期スルコトガ、出來ルダラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

ト云フヤウニ、大體ノ目安ヲ付ケテ、サウシテ此目安以上ニ逸脱スルコトハ危險デア

ヲスル、サウ云フ點ニ關シマス、銀行ニシロ、或ハ保險會社ニシロ、其他ノ金融機

前ト云フモノハ、商業手形ノ再割引、斯ウ云フヤウナコトデ行ッテ居リマスノデ、隨テ各金融機關モ、日本銀行ニ資金ノ融通ヲ仰

○宮澤(胤)委員 サウ致シマス、詰リ今日ノ場合、此公債消化ニ付テハ、現在ノ成

ルサウデアリマスガ、サウ云フコトニモ何等カノ考慮ヲ加ヘルトカ、斯ウ云フヤウナ

方ハ發行條件ヲ緩和シテ行クト云フ譯ニハ

ト考ヘテ居ッテ時代モアルノデアリマス、併ナガラ日本銀行トシテモ、公債ノ擔保其他ニ付テ、公定歩合デ以テ融通スルト云フ

銀行ノ公債ノ賣高ノ極メテ少ナイ最近ニ於テ、十一年度ノモノヲ發行セラレントシテ

ナカラウカト思フノデアリマス、例ハバ只今ノ御心配ガナイト云フコトデ、結構デア

ナケレバ、非常ニ困難ナ情勢ニアルノデア

コトニ付テハ、何等躊躇シテ居ル譯デモアリマセヌシ、又短期ノ資金ニ付テハ、或ル程度ノ融通ガ出來テ居ルノデアリマスカ

○結城國務大臣 サウ云フ御心配ハナイト考ヘテ居リマス

「シンヂケート」ノ方ガ之ニ應ジナイト云フヤウナ、新聞記事モ出テ居リマシテ、是ハ

致シテ置キマス

テ、ドウ斯ウト云フ變化ハアル譯デハアリマセヌガ、當局者同志ノ間ニ相互ノ理解ニ

○宮澤(胤)委員 是ハ數字ニ付テ色々ナ議論ヲ致シマシタ所ガ、先程御話ノヤウニ、

私ハ公債消化ニ關スル一ツノ惡イ象徴デア

○松田委員 質問ニ先立ッテ資料ノ要求ヲ、

依ッテ、日本銀行ヲ利用スルトカ、日本銀行ノ方デモ其面倒ヲ見テ行クト云フヤウナコ

見方モ、考ヘ方モ違ヒマスノデ、私は是以上此點ニ付テ觸レルコトハ避ケマス、併ナガ

ラ下半年期ニ掛ケテノ金融情勢ト云フモノ

合セテ、何トカ此公債ノ消化ヲ圓滑ニ圖

トヲ致シマセヌデモ、サウ云フコトハ出來ルヤウナ次第デアリマス、今後直接ニ産業

ノハ、ヤハリ此國民經濟カラ生ズル貯蓄、其貯蓄ヲドウ云フ風ニ分配シテ行クカ、例

ハバ生産資金ニドウ向ケルカ、或ハ滿洲ヘ

此公債ハ今年度ニ限ラズ、將來モ發行シナ

コトデアリマセヌガ、當局者ガサウ云フ

ドレ位向ケルカ、或ハ地方債ハドウスルカ

込ヲスル、拂込困難デアレバ、一時借入金

ケレバナラヌ運命ヲ持ッテ居ルノデアリマ

スカラ、政府ニ於テモ餘程慎重ニ考ヘテ貰フ、民間モ亦政府ノ意ヲ諒トシ、政府モ亦民間ノ立場ヲ能ク察シテ、茲ニヤハリ心ヲ合シテ行クト云フ方針ヲ執ラレルコトガ、最も重要ナコトデアルト思ハレル、此點ニ付テハ結城大藏大臣ハ、相當意ヲ用ヒラレテ居ルヤウニ感シタノデアリマス、ソレデ先程カラ宮澤君ト色々質問應答ガアツテ、私ハソレヲ伺ツテ居ッタノデアリマスガ、政府ノ方デハ金融界ノ金融ノ統制ヲ付ケルコト、或ハ其利息ヲ下ゲテ行クト云フヤウナコトニ付テ、政府ノ方ニ利益ヲ吸收シテ、民間ガソレニ釣ラレルト云フヤウナコトヲ思ハレテハイケナイ、是ハ小サイ問題デアリマスケレドモ、承リタイト思フノハ、郵便貯金ガ二分七厘六毛ニ、來月一日カラ利下ゲサレル、是デ八百萬圓ノ利益ガ政府ノ方ニアル、是ハ一般會計ノ方ニ廻スト云フ、サウスルト預金部ノ貸出利息ト云フモノハ下ゲナイノデアリマスガ、一體預金部ノ方ニ廻ル金ガ低利ニナレバ、貸出モ低利ニシテヤラナケレバナラヌ、吸收スル金ハ低利ニ依ッテ吸收スルガ、貸出ノ金ハ利下ヲシナイト云フヤウナコトデハ、民間ト政府ノ間ノ圓滑ヲ缺クト思ヒマスガ、此邊ハドウ云フ風ニナサル御考デアリマスガ

○結城國務大臣 預金部ノ利息ニ付キマシテハ、是ハ尤モ他ノ方ノ鈞合ヤ其他カラ考ヘタラ、預金部貸付金ノ中ニモ色々事情ノ違ッタモノガアリマス、サウ云フ風ナモノニ依ッテモ、考ヲ異ニシナクチヤナラヌノデアリマスカラ、郵便貯金ガ下ツタカラ、元資ガ下ツタカラ、貸出ノ方モソレニ伴レテ下ツテ來ナケレバナラヌト云フ風ニ、考フベキモノデヤナイヤウニ私ハ思フノデアリマス、是ハソレソレ皆特殊ノ貸出デアリマスカラ、一ツ一ツニ就テ考慮ヲ拂ッテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス

○松田委員 ソレハ分ツテ居ル、一手ノ貸付デヤナイ、一手ノ貸付デヤナイと言ウテモ一色々ニ種類ガアリマシテモ、今マデノ利率ト將來ノ利率トニ變更ヲ加ヘナイトスレバ、政府ハ國民カラ安イ金ヲ吸收スルダケデ、ソレヲ還元ノ形式ニ依ッテ色々低利資金ニ廻シテ居リ、其利息ヲ下ゲナイト云フノデハ、國民トシテハ貯金ノ利子ガ下ツタダケデ、ソレダケ犧牲ニナツテ、犧牲ニナリ放シデアアル、政府カラ何モ恩典ニ浴シナイ、是ガ民間デアッタラドウナサル、普通銀行デ利息ハ下ツタ、貸出ノ利息ハチットモ下ゲナイト云フノデハ、銀行ハドウ云フ譯デ下ゲナイノカト云フ疑ヲ民間デ持ツノハ、當然デ

ヤアリマセヌカ、勿論下ゲネバナラヌト云フ規則モアリマセヌカラ、何モ下ゲネバナラヌト云フコトモゴザイマセヌガ、民間ト政府ガ心ヲ合セテ和氣霽々トシテ、公債消化ヲシナケレバナラヌト云フ場合ニ、甚ダ善々ハ遺憾ニ思ヒマス、ソレデヤ斯ウ云フコトニ承ツテ宜シウゴザイマスガ、政府ハ國民カラ吸收スル金ノ利息ハ下ゲルケレドモ、還元ノ形式ニ依ッテ貸出シテ行ク其利息ハ下ゲナイ、斯ウ承ツテ宜シイカ

○結城國務大臣 預金部ノ貸付ニナリマスト、特殊ノモノガ多イノデアリマシテ、中ニハモウ資金ノ「コスト」ヲ割ツテ、二分程度ニ於テ貸シテ行ッテ居ルヤウナモノモアルノデアリマス、中ニハ高イモノモアル、ソレハ皆特殊ナ事情カラ來テ居ルノデアリマス、是ハ普通銀行トカ貯蓄銀行ノヤウニ、預金ノ利下ヲシタカラ貸出ノ方モ直グニソレニ伴レテ行カナケレバナラヌト云フヤウニ、考フベキデヤナカラウト思フ、安ク取ッテ貸出ノ方ハ下ゲナイノダ、斯ウ云フ風デハ、サウ聞エテハ甚ダ困ルノデアリマス、併シ預金部ノ仕事ナドハ、大概國家的ノ仕事ヲヤッテ居リマスノデ、營利ト云フヤウナ、算盤ダケニ依ッテ動イテ居ルノデヤナイ、斯ウ云フコトハ御承知ヲ願ヒタイノ

デアリマス

○松田委員 サウスルト私ハ要領ヲ得マセヌ、結局下ゲルトモ言ハナケレバ下ゲヌトモ言ハレナイ、ソレハドウ云フ風ニナリマスガ、一體預金部ノ金ト云フモノハ、民間カラ吸收サレテ持ッテ行カレルト、六厘七毛ダケハ利鞘ヲ取ッテ居ルノデス、ソレダケ取ッテ國民ノ方ニ貸出シテ居ル、サウスルト其差ト云フモノハ、モット大キクナル、今マデノ計算ヲ見テ御覽ナサイ、六厘七毛バカリ利鞘ヲ取ッテ居ル、國民カラ吸收シテ、ソレヲ還元ノ形式ニ依ッテ貸出ストキハ六厘七毛ノ鞘ヲ取ッテ居ル、成程ソレニハ人件費モ要ッテ居リマセウケレドモ、先ヅ地方的ニ考ヘテ見レバ、地方カラ吸收スル所ノ貯金ト云フモノハ、一遍吸收サレタラ其手数料ヲ六厘七毛取ラレル、斯ウ云フ風ニ地方デハ解釋致シマス、尤モ預金部ノ費用ハ見ナケレバナラヌケレドモ、今ノヤウニ言ッテ、貯金ノ利子ダケ下ゲテ行ケバ六厘七毛ノ利鞘ハ、ソレ以上取ラレルト云フコトヲ地方デハ考ヘナケレバナラヌ、ソレヲ還元スルトキニハ下ゲナイト云フヤウナコトデハ、國民ト政府ノ間ハ圓滑ニ行キマセヌ、モウ少シハッキリ之ヲ御答願ヒマス

○結城國務大臣 モノニ依ッテハ、金利ノ趨

勢ニ應ジテ下ッテ行クモノモアリマス、ソレカラ今度郵便貯金ノ利下ヲ致シマシテ八百萬圓位違ッテ來マス、其中ノ六百何十萬圓ト云フモノハ、色々ナ社會的施設ノ方ニ向ケルコトニナッテ居リマス、サウ云フコトニ大部分ハ使ハレルコトニナッテ居リマス

○松田委員 其話モ聞イテハ居リマス、今茲ニ計數ヲ擧ゲテ六百萬圓ト言ハレマシタガ、私ノ方デハ二百二十萬圓ト云フヤウニ聞イテ居リマス、六百萬圓御使ヒニナルト云フ表ヲ要求致シマス、其表ヲ戴イテカラ質問スルコトニシテ、私ハ此質問ハ留保シテ置キマス

○木暮委員長 今ノアナタノ御質問ニ對シテ、政府委員方更ニ詳細ニ御説明申上ゲルサウデスカラ、ソレヲ御聞キ下サッテ、御分リニナラヌ點ガアツタラ、更ニ御聞キ願ヒタイト思ヒマス

○木内政府委員 只今松田サンノ御質問ニナリマシタ二百二十何萬圓ト云フノハ、ドレヲ御指シニナッテ居ルノカ分リマセヌケレドモ、私共ノ方カラ先頃配布致シマシタ表ニハ、六百二十萬圓トナッテ居リマス、是ハ保健所補助約五十萬圓、結核豫防施設ノ擴充ニ關スル經費二百八萬餘圓、救護醫療施設ノ擴充ニ要スル經費二百二十餘萬圓、

國民保健保險制度創設ニ要スル經費三十一萬圓、母子保護法施設ニ要スル經費五十三萬餘圓、保健衛生施設ノ指導監督ニ要スル經費三十四萬圓、國立癩療養所擴張ニ要スル經費十六萬九千圓、方面委員制度充實ニ要スル經費四萬餘圓、斯様ナ工合ニナッテ居リマス

○松田委員 其差ガドレ位アリマスカ、其差ガ二百二十萬圓ト私ハ聞イテ居リマスガ、二百二十萬圓ト云フモノ、行方ガ、ドウナッテ居ルノデアリマスカ

○木内政府委員 其差ノ二百二十萬圓ト云フモノハ、何處カラ來ルト仰シヤイマスケレドモ、先程大臣カラ御説明ニナリマシタヤウニ、約八百萬圓ノ餘裕ガ預金部ニ出マス、其中二百萬圓バカリト云フモノハ、郵便事業ノ改善ノ爲ニ使ヒマス、残りノ六百萬圓ヲ一般會計ヘ繰入レマシテ、社會政策的施設費ニ使フコトニナリマス

○松田委員 此質問ハ此位デ打切ッテ置キマス、ソレカラ豫算ガ編成サレタ結果ニ依ッテ、此赤字公債ト云フモノガ出來タノデアラガ、昭和十二年度ノ豫算ノ編成ヲシタ時ニハ、昨年ノ八月カラ十月ノ中頃マデノ物價ノ標準ニ依ッテサレタノデアラガ、昨年ノ十一月ノ末カラ十二月ノ中頃ニ掛ケテ、

一時物價ガ三割騰貴シマシタガ、今幾ラカ下ッテハ居リマスケレドモ、ヤハリマダ二割六七分物價ガ騰貴シテ居ルヤウニ思ハレル、サウスルト、尤モ此豫算ニハ人件費モアリマセウシ、其他色々購入費以外ノモノモアリマスケレドモ、其豫算ノ中デ物件購入ニ關スル豫算ト云フモノハ、豫算ノ執行ヲ爲スニ當ッテ、物價騰貴ノ影響ヲ受ケテ、豫算ニ支障ヲ來シハシナイカト思ハレル、サウ云フ風ニナッテ來タ場合ニハ、又此後デ追加豫算等デモ出サレルカ、或ハ赤字公債ガ殖エルト云フコトニナリハセヌカ、此點ヲ伺ヒマス

○結城國務大臣 十二年度ノ追加豫算ニハ、サウ云フ風ナ意味合カラノ追加豫算ハ、出テ居ラヌ筈デアリマシテ、明日衆議院ノ方ニ提出スル筈デアリマス

○松田委員 將來モ出スノデハナイカト云フ惧ヲ持ッテ居ルカラ、承ッタノデアリマス、アノ豫算ニ入ッテ居ラヌコトハ分ッテ居リマス、將來ハサウ云フヤウナコトデ、支障ヲ來ス場合ガアルモノトシナケレバナラヌ、サウ云フ場合ニドウナサルカ

○松田委員 次ニ公債ノ消化ノ割合ト云フモノハ、先ヅ國民所得ノ一割五分ヲ以テ相當トスルト云フコトハ、識者ノ間ニ唱ヘラレテ居ルヤウニ聽イテ居リマス、ソレ以上ハ國民生活ノ上ニ害ヲ及ボスモノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ見ラレテ居ルノデアリマスガ、一體大藏大臣ハ昭和十二年度ニ發行スル公債ノ消化ノ見透シニ付テ、斯ウ云フコトヲ御考ニナッタコトガアルカドウカ、アレバドウ云フ風ニ其額ヲ見タカト云フコトヲ、御伺ヒ致シマス

○結城國務大臣 今ノ割合ノコトニ付テノ通説ト申シマスカ、私ハ聽イテ居リマセヌ、又ソレナモノヂヤナカラウカトモ思フノデアリマスガ、或ル割合ヲ以テト云フコトヲ窮屈ニ考ヘル必要モナイ、此程度ノ公債ノ消化ナラ私確信ヲ以テ居リマス

○松田委員 先程カラ宮澤君トノ間ニ大分質問應答ガ重ネラレタノデアリマスガ、アレニ依ッテハマダ不十分ノヤウニ思ヒマスガ、ソコハ見解ノ違ヒデ、大臣ノ方デハサウ云フ風ニ思ハレルガ、吾々ノ方デハ多少懸念ヲ持ッテ居リマス、併シ何ト言ウテ見タ所ガ、其金ハヤハリ民間ノ蓄積スル餘力カラ出テ來ナケレバナラヌノデアリマス、ソレガ蓄積餘力ノ割合カラ考ヘテ行ッテ、生

活費ヲ引イテ其増税——昨年度ハ臨時増徴ト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、其後ニ於ケル増税ノ金ヲ引イテ行ツタラバ、

成程政府ノ豫算ガ大キクナレバ、民間ニ拂出ス金モ餘計ニ拂フコトニナル、所謂民間ニ還元スル金モ多クナル、斯様ニ見テ居リマセウケレドモ、ソレハ近頃ノ言葉デ言フ

ト跛行的ノ還元ノ仕方デアツテ、必ズシモ一般ニ對シテノ還元デハナイノデアリマス、サウ云フ風ニ考ヘテ行クト、是位ノ公債ナラ消化出來ルデアラウ、斯ウ云フ漠然

タル御説明ヲ以テ吾々ハ直チニ此明年度發行スル公債ノ消化ガ出來ルト、確信スルコトハ出來ナイノデアリマス、昨年ノ増税ガ發表サレテカラ、社債並ニ地方債ガ發行出

來ナクナツタ、各工場デ産業資金ガ銀行ヨリ借入レラレテ居ル、其借入レテ居ル金ノ利息ハ、ドレダケカト云フト、是ハ約四分五厘ニ相當スル金ガ、大部分動イテ居ルト

聞イテ居ル、此額ニ付テ結城大藏大臣ハ興業銀行ノ總裁ヲ爲サツテ居タカラ、大體ドレ位ノ金ガ銀行カラ産業部門ニ貸出サレテ居ルカ、尤モ綜合課稅ヲナクスルト云フヤ

ウナコトデ、稍、利廻リガ安定シテ來タ、今ハ多少回復シテ居リマスケレドモ、皆々回復ハセヌデアラウト思フ、斯ウナルト預

金ノ減ハ當然考ヘナケレバナラヌコトデア

ル、此點ニ付テ大藏大臣ノ御説明ヲ伺ヒタ

イ

○結城國務大臣 今銀行方面カラドノ位ノ金ガ、産業資金ニ出テ居ルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハハッキリシタコトハ中々

分リ悪イト思ヒマス、尙ホ大體ノ數字デモ分リマシタナラバ、取調べマシテ御答致サセルコトニ致シマス、ソレカラモウ一ツノ御尋ハ、借入金ガ社債ニ變リマスコトデア

リマスガ、是ハ社債ノ發行狀況ガ好クナツテ參リマス、成ベク長期ノモノニ代ヘヨウト云フコトヲ、事業會社モ融通銀行ノ方

デモ思ツテ居リマスカラ、サウ云フ風ニ致サセマスガ、昨年カラ御承知ノ通り稅ノ關係ヤラ、豫算ノ關係ナドデ、全ク社債ノ發行ガ止ツテ居ル、先月アタリカラ少シ動イテ參リマシタカラ、自然此上半年期ナドニハ、サウ云フ風ナモノガ、可ナリ多クナル

ラ、ソレデ打切ツテ置クコトニ致シマス、ソレカラ滿洲ノ損害保險株式會社創立ニ關スル件デアリマス、是ガ公債消化ニ影響ヲ

及ボスデハナカラウカ、斯ウ云フ縣念ヲ持ツテ居リマス、之ニ對スル大藏大臣ノ御意見ヲ承リタイノデアリマスルガ、是ガ實

現スルト云フコトニナツタナラバ、ドウセ内地ノ有力保險會社ガ、之ニ投資ヤスルノデアラウト思フ、サウナツテ行キマス、

利率カラ考ヘマス、是ハ日本ノ内地ノ公債ヲ持ツト、利率ノ開キガ大分アリマス、サウスルト保險會社ノ運用金ト云ヒマ

スルカ、運用資金ト申シマスルカ、是等ガ滿洲損害保險株式會社ノ創立ト同時ニ流レテ行クノデヤナイカ、其金ガ流レテ行クモ

ノトスルナラバ、何レハドウセ此保險ヲ大藏省ガ統轄サレテ、保險協會等ニモ公債ノ消化ニ付テハ色々御話モアルノデス、アリ

マスケレドモ入ッテ來ルモノハ、ヤハリ日本デアリマスカラ、滿洲損害保險ノ方ニ流レテ行ケバ、アナタノ豫想サレテ居ル此公債ヲ保險會社ニ消化ササウト思ウテ居ルコトニ、違算ガ生ジハシナイカト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付テドウセ御考ニナツテ居ルノデゴザイマセウ、サウ云フ點モ吾

吾ガ此公債ノ消化ニ付テ心配スルカラ、御

質問ヲ申上ゲルノデアリマス、其意味ニ於テ率直ニ一ツ伺ヒタイ

○結城國務大臣 此損害保險ノ滿洲ニ出來マシタ後ノコトニ付テハ、私自身ハッキリシタ取調ヲヤツテ居リマセヌノデスガ、結論ヲ申シマス、サウ心配シタモノデヤナカラウト思フノデアリマス、無論保險會社

ヤ其他ノ投資ニ付キマシテハ、大藏省モ今後商工省ト一緒ニ其邊ノコトヲ見テ參リマスカラ、其方面ニ付テ十分注意シテ行ク積

リデ居リマスノデ、サウ大シタ心配ハナイカト思ツテ居ルノデアリマス

○松田委員 ドウモ屢、サウ心配シタモノデヤナカラウト言ハレルノデスガ(笑聲)ソコガドウモハッキリシマセヌ、ソレデモウ濟マシテシマヘバ、ソレデ何モ構ヒハシマセヌ、ケレドモ吾々ハ、サウハ思ハナイ、

是ハ公債消化ノ上ニ付テ色々支障ヲ來シマス、ソレデヤモウ一ツ承リタイ、滿洲興業銀行ト云フモノガ設立サレマスガ、是ハ三千萬圓デス、此銀行ノ債券發行ガ十五億圓トカ云フノデスガ、是ハ明ニ斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、是ハ何處カラ金ガ行クカ、謂ハバ内地ノ金ガ大分行クコトニナル、サウ云フヤウナコトニナツテ來マス、是ハ今申上ゲタ滿洲損害保險ト云フモノバ

カリデハナイ、本會議議デ質問致シマシタ如ク、滿洲ノ産業五箇年計畫ト云フモノモアリマセウ、今申シマスル滿洲興業銀行ト云フモノモアリマセウ、斯ウ云フ風ナモノデ、所謂二兎ヲ追フ者一兎ヲ得ズト云フヤウナコトニナリマセヌカト云フコトヲ心配シテ、御質問申上ゲルノデスガ、此滿洲興業銀行設立ノ資本金及ビ此債券ノ發行、此十五億圓ハ元々一箇年ニ發行スルノデハナク、ソレハボツ／＼デアリマセウケレドモ、日本ノ公債ノ發行モ今年一年デハナイ、五年カ六年ハヤル、サウシテ十億圓近ク發行シテ、ソレカラ先ハ發行セヌカト云フト、サウデハナイ、ソレカラ先モ六億七億ノ公債ハ、今ノ經濟狀態カラ言ヘバ發行シ

シテ併セマシテ、サウシテ將來ノ滿洲ニ於ケル普通銀行ト致シマシタノデアリマシテ、今後銀行債券ノ發行ヲシ得ルヤウニナツテ居リマスガ、是ハ時トスルト日本ノ方カラ金ヲ持ッテ行クコトニナリ、既ニ只今デモ預金部ノ方カラ幾ラカ手傳ハシメテ居ルヤウデアリマス、又場合ニ依ルト公債ノ消化ナドニ付キマシテ、預金ノ準備トシテ、日本ノ公債ヲ持ツト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマシテ、必シモ其債券ヲ發行シテ皆貸出ニ充テル、其爲ニ公債ノ發行ニ、ソレダケノ支障ヲ來スト、斯ウ云フ風ニ見ルベキデハナカラウト思フノデアリマス

クト云フコトハ、大體カラ見テ拒ムコトガ出來ヌ事情ニナルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ッテハ、大藏大臣ヲ苦シメルヤウニモ解釋サレルカモ知レマセヌガ、決シテサウデハナイ、斯ウ云フヤウナコトモ、マア考ヘテ貰ッテ、ソレデ大藏省自身ノ企テ宜シイガ、外ノ方ノ部門カラ——外地竝ニ滿洲、北支ニ直チニ資金ガ流レテ行クヤウナ企ガアルト云フヤウナ時ニハ、相當大藏省ハ考ヘテ行カナクチャナラヌデヤナイカ、公債ノ消化ニ付テハ大藏省ニ責任ガアル、決シテ外ノ大臣ハ之ニ直接ノ責任ハ持タナイ、又赤字公債ヲ發行シテソレヲ消化サシタカラト云フノデ、大藏省ガソレデ責任ガ足ツタト云フ譯デヤナイ、公債ヲ發行スルト云フコトハ、其公債ガ支障ナク消化サレテ悪性「インフレーション」ヲ起サナイダラウ、斯ウ云フコトニナラナケレバ、大藏省ノ手腕ト云フモノハハッキリシナイ、公債ハ無理ヤリニ消化サシテ悪性「インフレーション」ヲ起スト云フコトハ誰デモヤル、サウ云フ點ヲ考ヘテ行クナラバ、先ヅ宜カラウ宜カラウト云フヤウナコトデヤツテ居ッたら、終ヒニハヒヨットスルト行詰ルヤウナコトニナリハセヌカト思フ、ソレト斯ウ云フコトガアッタ

ヤウニ聞イテ居ルガ、ドウデスカ、日本興業銀行ガ預金部カラ八千萬圓ヲ借出シテ來テ、ソレヲ運用シ、興業銀行ハ公債ヲ買入レタ、詰リ日本銀行ノ公債賣出ニ付テ「オープン・マーケット・オペレーション」ノ下仕事ヲシテ居ル、是ハ斯ウ云フ事實ガアッタカドウカ、ソレカラ其八千萬圓ノ金ヲ興行銀行ハ普通銀行ニ融通シテ居リ、或ハ又日本銀行ノ代理貸付ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトモ聞イテ居リマスガ、斯ウ云フコトハ預金部ノ方デ當然出來ルコトデアリマスコトスカラ、是ハ惡イト言フノデヤナイ、預金部ノ方デ當然出來ルコトデアリマスコトヲ、何故興業銀行ヲ通ジテ斯ウ云フヤウニナサツタカ、其意味ガ分ラヌ、之ヲ御答辯願ヒタイ

ナケレバナラヌ、ソレデスカラ自然滿洲興業銀行ノ債券發行額ノ十五億圓ト云フノモ、一時デハナイ、一時デハナイケレドモ、ヤハリ日本ノ公債ト同ジヤウニ發行サレテ行キマセウ、ダカラ自然此公債ノ發行消化ノ上ニ、影響スルコトニナリハセヌカト存ジマスノデ、斯ウ云フヤウナコトモ能ク御考ヘニナツタカドウカト云フ點ヲ、伺ヒタイ

○松田委員 ソレハアナタハ財政學上カラノ御話デセウ、一旦出シタモノハ又日本銀行ヘ還元シテ來ルト云フ御考ノヤウデスガ、私ハ財政學ノ講義ヲ聽イテ居ルノデハナイ、滿洲ノ興業銀行ト云フモノ、資金ト云フモノハ、先ヅ滿洲ニ固定スルモノト見ナケレバナラヌ、滿洲ハ獨立國デアアル、ソレハ成程此債券ノ發行ハ、内地カラ皆行クベキモノデモナケレバ、又滿洲ニ於ケル遊資デ皆消化サレルト云フ譯デモナイ、内地カラ皆行クト云フ考ハナイガ、斯ウ云フコトガアルトスレバ、日本ノ正貨ガ流レテ行

○結城國務大臣 滿洲興業銀行ハ御承知ノ通り、彼處ニアリマシタ普通銀行ヲ整理ヲ

○結城國務大臣 御話ノヤウナコトハ或ハ事實ガ違ッテ居ルカト思ヒマスガ、昨年ノ暮ニ預金部ノ資金ヲ興行銀行ヲ通シテ、二千萬圓カ三千萬圓デアッタラウト思ヒマスガ、「コール」市場ニ出シタト云フコトノ御間違デヤナイカト思ヒマス、是ハ預金部トシテハ、短期ニ有利確實ナルモノニ資金ヲ運用スルコトガ出來マスノデ、日本銀行、興行銀行其他皆相談ノ上ニ、アソコカラ短期市場ニ資金ヲ出シタノデアリマス、

多分其事グラウト思ヒマス

○松田委員

ソレハアナタガ興行銀行ノ總裁ヲ居ラレテ御承知ガナイトシマスレバ、是ハアナタノ御言葉ヲ信用シテ置クヨリ仕方ガアリマセヌ、ソレデハ方面ヲ變ヘマシテ、日本銀行ノ調査ニ依リマスト、昨年ノ一月カラ十月マデニ株式ノ拂込ハ、五億六千八百萬圓拂込シテ居ル、丁度前年ニ比シテ一億九千百萬圓拂込方殖エテ居ル、ソレカラ又社債、地方債、銀行債ノ拂込ハ大分アツタ、之ヲ二ツ寄セマスト三十億三千六百萬圓ニ達シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、サウスト前年ノ同期ニ比シテ六億六千六百萬圓ノ増加ヲ來シテ居ル、是モ悪イコトデヤナイ、是ハ産業ノ開發ガ出來テ居ル結果デアリマスカラ、是ハ悪イコトデモナイ、是ヨリ以上ニナルノモ差支ナイイコトデアリマスカラ、是ハ比較ノ問題デス、此趨勢ヲ以テ昭和十二年度ニ臨ンデ行ク時ニハ、自然明年度ノ赤字公債ヲ消化スルニ、或ハ困難ナ事情ガ來ルノデハナカラウカ、是ハ比較ノ問題デアリマスヨ、此比較ヲ見マスレバ、アナタハドウ云フ風ナ御考ヲ持タレルカト云フコトヲ承リタイ

○結城國務大臣

増資拂込其他ノ増加、是ハ特ニ昨年ハ多イト云フ譯デモナカラウト

思フノデスガ、年々ヤハリ其位ノ程度ニ増加シテ參リマセウ、ソレカラ社債其他ノ發行ニ致シマシテモ、昨年ノ上半期ハ例年ニ比シテ非常ニ多カッタデアリマス、ソレダケニ産業界ノ方デ、安イ利率デ長期ノ金ヲ使ヒ得ルヤウニ相成リマシタノデ、産業界トシテハ非常ニ潤ヒガアツタ思ヒマシマス、下半年ニ入ッテカラ、詰リ豫算案ガ出來マシテカラハ、モウ全ク發行ガ出來ナク

ナツタ、ソレデ去年全體デ見マスト、或ハ一昨年ヨリハ少クナッテ居ルカト思フ位デアリマスガ、併シ是ハ多イ方ガ宜イノデアリマス、産業界ガソレダケ潤ッテ參リマシタカラ……併シソレガ多ケレバ公債ノ消化ガ、ソレダケ少クナルノデヤナイカト云フ御懸念グラウト思ヒマスガ、是ハ先刻モ申上ゲマシタヤウニ、社債ニ行クモノモアリ、公債ニ行クモノモアル、ソレハ一ツノ分量カラ分レテ行クト云フノデヤナシニ、國民ノ持ッテ居ル經濟力ガ、或ル場合ニハ社債、公債ト云フモノニドント餘計ニ行ク場合モアリ、或ハ株券ノ方ニ餘計ニ行クト云フ場合モアルノデアリマスカラ、必シモ社債ノ方ガ多クナツタカラ、公債ノ方ノ消化ガ鈍ル、斯ウ云フヤウニ見ル必要ハナカラウト思ヒマス、ソレデ其位ノ増加ニ對シテハ、私ハサウ心配ハナイ、斯様ニ考ヘマス

○松田委員

心配スル虞ハナイト言ヘバ、或ハサウ云フ結果ニナルカモ知レマセヌ、併ナガラ先程申シタ如ク、是ハ比較ノ問題デアル、是ハ是デ打切ッテ置キマス、公債消化ト産業資金ノ問題デアリマスカラ、産業資金ヲ社債ニ依ッテ求メル、或ハ地方ガ仕事ヲ爲ス上ニ、社債トカ地方債ヲ發行スル、斯ウ云フ部門ニ對スル中央ノ資金ニ影響ノシナイヤウニ、民間ノ方デ餘リ日本銀行ヲ手傳ハナイデ宜イヤウニスル方法ガナイモデアラウカト思ハレル、之ニ付テハ外國ニモ例ガアルヤウニ聞イテ居リマスガ、社債、地方債ト云フモノヲ所有シテ居ル者ニ對スル、一ツノ保護法ト云フヤウナモノヲ制定シテヤレバ、非常ニ消化ガ仕易クナリ、是ハ民間ノ方デ消化ヲシテ行ク交渉ガ出來ル、或ハ「シンヂケート」團、サウ云フモノノ介在ナクシテデモ、消化ガ出來ルト云フヤウナ方法ガナイカ、ドウカト云フコトデアリマス、ソレカラ唯大キナ會社トカ、政府ニ關係シテ居ル會社トカ云フヤウナモノハ、成程社債ノ消化ト云フコトモ相當サレテ居ル、又ソシナモノニ限ッテ無擔保デアリマス、唯中以下ノ産業資金、是ハ何處

デ求メル、之ヲ御考ヘ願ヒタイ、サウスルナラバ、ヤハリ今申シタヤウニ社債トカ云フヤウナモノ、所有者ニ對スル保護ト云フカ、何かソコニ一ツノ法ヲ制定サレルト云フヤウナコトニ依ッテ、之ヲ助ケルト云フコトニナレバ、中央ニマデ影響致サナイ、ソレガ公債消化ノ上ニ、ヤハリ都合ガ好イコトニナリハセヌカト思ハレルノデアリマス、ソレガ出來ルト云フコトニナレバ、産業資金ハ今大藏大臣ノ御考ニアルヤウナ、大キナ會社ノ社債ノ消化、ソシナモノハ幾ラデモ消化サレルデセウ、滿鐵ノ五千萬圓ノ社債ナド、アレ位ノ會社ニナレバ、ドウデモヤッテ行ケル、況ヤコンナモノニ對シテハ政府ハ相當援助シテ居ルノデアリマスカラ、ドウデモ宜イデセウガ、唯中以下ノ産業資金ヲ求メル者ハ、困ッテ居ルノデアリマス、是ハ隨分高イ利子デ借りテ居ル、ダカラ是等ノ者ヲ救済シテヤル何カ法律ヲ作ルト云フヤウナ、御考ハアリマセヌカ

○結城國務大臣

社債ノ優遇ト云フヤウナコトニ付テハ、餘リ聞イテ居リマセヌシ、考ヘテモ居リマセヌガ、公債ノ優遇ト云フヤウナコトニ付テハ、色々ナ方法ヲ執ッテ居リマス、又今後ニ於テモ考ヘテ行クベキダラウト思ッテ居リマス、ソレカラ中小産

業資金ニ付テ、何カ社債ノヤウナモノニ依ッテ、モ、ソレヲ優遇シテ、中小商工業者ニ便利ヲ與ヘルヤウナ方法ガナイカト云フ、其御心配ハ御尤デアラウト思フノデアリマス、併シハ普通ノ長期ノ産業資金トモ違フノデ、社債ニ依ルト云フコトハ、中々ムヅカシイト思ヒマス、ヤハリ商工中央金庫デアルトカ、興業銀行デアルトカ、或ハ普通銀行デアルトカ、或ハ組合ノ力ニ依ッテ金融ヲ致シマストカ、或ハオ五ニ知合ッタ結果、銀行ノ當局者ニモ理解ラシテ貰ッテ、サウシテ其人物ニ對シテ信頼ヲ持ッテ貰ッテ、無擔保デ融通シテ貰フ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ行クヨリ外ナカラウト思フノデアリマス、甚ダ序ト申シテハ御聽キ惡イカモ知レマセヌガ、貴族院ノ質問ノ時ニ、私ハ商工業者ト違ヒ、農村デハ餘リニ金融ノ便利ヲ與ヘテ、滑カデアルト云フコトハ、農民ニ借金ヲサセルコトニナル、農民ハ借金ヲシテハイケマセヌ、成ベク借金ヲシナイヤウニシテ行カナケレバナラヌカラ、是ハ商工業者ト違フ、農民ハ借金ヲ出來ルダケシナイヤウニシテ行カナケレバナラヌノデナルカラ、餘リニ滑カニセヌ方ガ、却テ宜イ場合モアルト云フコトヲ申シマシタ所ガ、今朝デアリマシタカ、都下ノ新聞ニハ

私ノ本音ガ其邊ニアルドラウト言ッテ、冷カシラ受ケタノデアリマスガ、私ハ今日農村ノ困ッタノハ、全ク借金ノセイデアルト信ジテ居ルノデアリマス、中小商工業者ニ對スル金融トハ、別ニ考ヘナケレバナラヌ、之ニ付テハアナタノ御心配ニナッテ居ルヤウニ、滑カニ行クヤウナ何カ方法ヲ、此外ニ種々考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、社債ニ依ルト云フコトハ、私ハムヅカシイト思フノデアリマス

○松田委員

ソレハヤハリ見方ニ依ルノデアリマス、農民ニ借金ヲサセナイヤウニスルト云フコトデスガ、農民ニ借金ヲサスルト云フト、返済ノ仕方ガ普通中央金庫ノ實業家ナドト違フ、俗ニ謂フト下手ダ、ダカラ一遍借財スルト、ソレガ孫ノ代マデモ殘ッテ行ク、ソコヲアナタガ御心配ニナッテ、成ベク農民ニハ借財ヲサセナイヤウニト云フヤウナコトヲ、御言ヒニナッタノカモ知レマセヌ、併ナガラ國民ノ立場カラ考ヘテ見ルト、國家ニ成ベク借財ヲサシテハイケナイ、國家ニ幾ラ借財ヲサシテモ宜イカト云フト、國家ダッテ國民本位デアアル、アナタノ立場カラ言フたら農民ハ成ベク借金スルナヨ、國家ハドソノ借金ヲ殖シテ行クカラ、國民ニ代ッテ國家ガ借財ヲ殖シテ行ク、

ソナ矛盾シタコトハナイ、國家ノ借金ハ國民ノ借金デアアル、國家ノ借金ハ誰ノ借金ダトアナタハ思ハレル 農民ハ借金スルナ、其代リ俺ガ借金ヲスル、ソレデハ國民ト云フモノヲ二様ニ解釋サレテ居ル、ソレデハイカヌ、アナタハ農民ヲ憐シク申サレタコトカモ知レマセヌガ、農民ニハ借金スルナヨ、國家ガ借金スルゾト云フコトハ、結局國民ニ代ッテ俺ガ借金シテヤルト云フコトニ取レマセヌカ、私ハサウ取ル、成程國家モ要ラヌ金ヲ借金爲サルノデハゴザイマスマイ、併シ農民ト雖モ要ラヌ金ヲ借金スルノデハゴザイマセヌ、借金シナケレバナラナイヤウニ切羽詰ッテコソスルノデアリマス、只今ノ御言葉ハドウモ大藏大臣ノ御言葉トシテハ、少シク聽取リ惡イ話デアアル、農民ガ借金ヲシナケレバナラヌ實情ヲ取調ベテヤッタナラバ、國家ガ借財ヲスルコトヲ見合ハシテ、出來ルダケ節約シテ、モ、先ヅ之ヲ救済シテヤラナケレバナラヌ、アナタハ一體ドウ考ヘラレテ居ル、勸業銀行ヤ農工銀行カラ農民ニ金ヲ貸サレタアノ自作農創定資金ノ如キハドウデス、アレノ返済ニドレダケ困ッテ居リマスカ、本會議ニ於テ御尋致シマシタ時ニモ、ソレハ申上ゲル積リデアッタケレドモ、時間ノ都合上三十

分餘リシナカッタカラ、私ハヨウ言ハナカッタノデアリマスガ、農民ハ蠶ヲ飼ッテソレヲ繭マデ育テ、ソレヲ六月ノ十二三日ニ賣ッテ、二十五六日ニ繭ヲ賣ッタ金ヲ貰ッテ來テ、サウシテ家へ持ッテ來ルト、門ニチャント勸業銀行、農工銀行ガ付ッテ居ッテ、年賦金ヲ直グニ持ッテ行ッテシマフ、又夏ノ暑イノモ厭ハズニ汗水カイト働イテ、秋ニナッテ米ヲ穫リ、十一月ノ半バ頃ニソレヲ市場ニ出シテ、十一月ノ二十三日前カラ四五日ニ金ヲ持ッテ來ルト、勸業銀行、農工銀行ハ門デ待ッテ居リマシテ、直グニ年賦金ヲ持ッテ行カレルト云フ如ク、今ヤ借金ノアル農民ノ働キト云フモノハ、朝カラ晩マデ働イテ居ルコトハ、農工銀行、勸業銀行ノ借金ノ元金ト利息ヲ拂フ爲ニ働イテ居ル、ソレヲサスナト云フノデアッタナラバ、之ヲサスナト云フ反面ニ、何故モットサウ云フモノヲ救済シテヤラナイカ、借リタモノハドウモ仕様ガナイ、ソレヲ心配爲サルナラバ、何故アレ等ノ利息ヲモット下ゲルヤウニ工夫シテ下サラヌノデアアル、サウ云フヤウナ所ニオ氣ガ付クナラバ、丁度好イ幸デアリマスカラ、是カラハ農民ニ借金ヲサセナイヤウニシテ、今マデ借金ヲ返スニ困ッテ居ル農民ヲモウ少シアナタガ助ケラレル方

針デ、アノ利息ヲ下ゲテ、而モ其年賦ノ年限ヲ長クシテ、サウシテ働イテ食ッテ、不時災難ノ備ヘニ、年ニ幾ラカヅツデモ貯金ヲシテ行クト云フ風ニ、之ヲ考ヘテヤッテ下サツラドウデアルカ、私共考ヘマスノニ、低金利政策ナドト言ハレテ居リマスケレドモ、寧ロ是ハ公債ノ消化ノ精神ガ總テ社會ニ流レテ行ッテ、國民ガ國家ノ借財、所謂公債ノ發行ニ付テ、多クノ犠牲ヲ拂ッテ居リマス、ソレカラ考ヘレバ、何故アナタハ農民ノ今出來テ居ル借金ニ付テ、モット救済スル御考ヲ持ナイノカ、之ヲ具體的ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○結城國務大臣 其爲ニ農村負債整理ト云フコトニ、非常ニ重キヲ置イテ居ルノデアリマス

○松田委員 農村負債整理問題デアリマシガ、サウ云フコトニ付テ申上ゲマスレバ、是ハ大分問題ガ枝葉ニ涉ッテ來マスノデ、外ノ質問ヲサレル方ニモ御氣ノ毒デアリマシガ、アレダケノ金デ農民ノ負債ガ解消ガ出來ルカドウカ、農民ハ今困ッテ居ル、負債整理組合ハ農林省ノ關係デモノリマシ、大藏大臣トシテハ單純ニサウ云フヤウニ御考ニナッテ居ルカラ、ソレ等ノモノニ對シテ救済ヲシテ居ル、斯ウ言ハレルデセウ

ガ、ソレデハ實績ガ何處マデ舉ッテ居ルカ、又將來ソレニ依ッテ農民ガ何處マデ助ッテ行クカト云フコトニ付テハ、是ハ時間ガアリマセヌカラ、別ノ機會ニ聽クヨリ外ニ仕方ガアリマセヌガ、私ハサウ思フ、是ハ大藏大臣ヨリ話ガアツタカラ申上ゲタノデ、私ガ言ヒ出シタ話ヂヤナイ、ヤハリ國民ノ心ヲ心トシ、又國民モ政府ノ意ヲ汲ミ取ッテ、互ニ國ヲ愛スルト云フ觀念、及ビ國民ノ義務ト云フコトヲ國民ニ思ハシメテ、公債ト云フモノ、消化ヲ圓滑ニ圖ッテ行クト云フコトニアラザレバ、到底公債ノ消化ト云フモノハ——長イ年月ノ間、ヤハリ國民モ苦シンデ、之ヲ消化ヲシナケレバナラヌノデアリマス、詰リ圓滑ニ行カヌト吾々ハ思フノデアリマス、ソレデ國民及ビ金融業者ガ非常ニ心配ヲ致シタ、馬場大藏大臣當時ニ、或ハ金融統制ノ法律ヲ出スノヂヤナカラウカ、又出ストモ言ウタコトガアル、ソレヲ見合セテ、行政手段ニ依ッテ公債消化ヲ圖ルト言ッテ見タリ、種々雜多ナ金融機關ニ對スル威嚇ト申シマスカ、政府ノ權力ヲ遺憾ナク發揮シテ、公債ノ消化ヲ圖ラウト云フヤウナコトヲ企テタノガ、結局政府ト國民トヲ對立サセルコトニナッテ來タノデアリ、ソレヲ今ノ大藏大臣ガ御就任ニナッテ

以來緩和サレテ、漸ク其公債ノ消化モ相當ニシヨウヂヤナイカト云フコトニ付テ、金融界ニ於ケル寄りノノ相談ガアルト云フ今日ノ場合デアリマス、ソレデ、アナタノ大體ノ方針カラ申サレマシテモ、最初馬場大藏大臣ガ言ウタ銀行、信託、保險、信用組合等ニ對シテハ、政府ハ公債ノ保有ヲ強制スルコトガ出來ル法律ヲ出ス、ソレカラ政府ハ右以外ノ一般株式會社、總テノ株式會社ニ對シ、積立金ノ一定ノ割合ヲ以テ、公債ヲ保有セシムルコトヲ得ル、又政府ハ銀行及ビ一般株式會社等ニ對シテ、配當ノ制限ヲ爲シ、社内保留金ニ制限ヲ加フルコトヲ得、又政府ハ金融機關ニ對シ、其投資ニ關シ、自由企業投資ヲ抑制スルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ナ法律ヲ出スノダト云フコトヲ暗ニ仄カシ、暫クシテ之ガ出タ時ニハ、金融界モソレナラソレデ吾々ノ方モ一ツ考ヘヨウヂヤナイカト云フノデ、茲ニ政府ト對立ヲヤラウト云フコトニナッテ來タ、ソレデ公債モ下ツタ、ソレカラ後ニ、ソレハ餘リエライカラ、行政手段デ公債ノ消化ヲ圖ルト云フノデ、ソレモ政府ハヤレルノデアアルケレドモ、先ツ行政手段デ公債ノ消化ヲスルゾ、行政手段デ行カナイ時ニハ此法律ヲ

出スゾト言ッテ、暗々裡ニ社會ニ向ッテ恐怖心ヲ起サシメタト云フコトガ、公債消化ノ裏面ニ於テ、非常ニ支障ヲ來シテ居ル、斯ウ云フヤウナコトハ、アナタニナッテカラ申サレズ、圓滑ニ公債ノ消化ヲセシムルト云フ御言葉ハ、此機會ヂヤナイガ、他ノ機會デ承ッテ居リマスルガ、併シ斯ウハッキリハ御答ニナッテ居ラヌヤウデアリマス、馬場大藏大臣當時ニ申サレタヤウニ、今申シタヤウナ金融ノ統制ノ法律及ビ行政的強行手段ト云フヤウナモノハ、少クトモアナタハ御執リニナラナイト云フコトヲ、國民ガ一應確メテ置キタイ、是ハ誰モ思ッテ居ル所デアリマス、之ニ對スル御意見ヲ承リタイ

○結城國務大臣 只今ノ所デハ、サウ云フ立法手段、強制手段ニ依ッテト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマセヌ

○松田委員、ソレデ結構デアリマシガ、政府ハ斯ウ云フ御考ヲ公債發行ノ條件トシテ、御考ニナッテハ居ラヌノデアリマシカ承リタイ、公債發行ニ對シテ、政府ノ買戻條件ノ附イタ公債ヲ發行スル御意見ガアルカドウカ、ソレカラ政府ハ發行價格以下ノ賣買ヲ禁止スルト云フ法律ヲ制定スル御考ガアルカナイカ、是ハ釋明シマスト時間ガ

長クナリマスガ、單純ニ御意見ヲ伺ヒマス

○結城國務大臣 買戻條件附ノ公債ヲ發行スル考ハナイカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ今考ヘテ居リマセヌ、併シ是ハ「シ

ンジケート」デアリマスガ、或ハ證券業者ノ所謂「アングラライター」ト云フヤウナ所

デ、サウ云フ風ナコトニ付テ便宜御便宜ヲ與ヘルヤウナコトハ、今デモヤッテ居ルカモ

知レマセヌガ、將來モサウ云フ風ナコトニ付テ、御約束ヤ何カモ致ス所モアルガラウ

ト思ヒマス、ソレカラ發行價格以下ニ賣ッ

チヤイカヌト云フ、サウ云フコトヲ強制スル考ハ持ッテ居リマセヌ

○松田委員 私人質問ハマダ實ハアリマス

ノデス、表ヲ要求シテ置キマス、其表ヲ見

ナイト云フト、組立ガ一寸出來ナイモノモ

アリマス、マダ質問ハ一時間ヤソコラスル

モノモアリマスガ、大體是デ一時打切ッテ置キマス

田君ノ御質問ガ何カ喰違ヒニナッタ儘デ流

レテ居リマスガ、是ハ非常ニ遺憾ナコト

デ、要スルニ松田君ノ御質問ノ點ハ、資金

「コスト」ガ下ッタノニ大藏省預金部ノ貸出

ヲ下ゲナイノカ、一方大藏省ノ方デハ御承

知ノ通り資金「コスト」ガ下ッタ關係デ餘裕

金ガ八百萬圓出來タカラ、是ハ社會政策的

ノ施設ニ使ッたり、或ハ又一般會計ヘ入レ

テ、社會政策的ノ施設ニ使ッタ、斯ウ云フ問

題ニナルノデスガ、ソコデ問題ハ今後長ク

郵便貯金利下ニ依ッテ生ジタ一部餘裕金ヲ、

其儘一般會計ヘ繰入レルコトヲ繼續シテ行

ク方ガ宜イカ、又ハソレヲ一般會計ヘ特別

會計カラ繰入レテ行クコトヲ止メテ、農村

ナリ或ハ都市ノ郵便貯金ヲ預ケテ居ル人達

ノ階級ニ對スル貸出ニ、還元シテ行ク方ガ

宜イカト云フ、此二ツノ問題ニナリマスヤ

ウデスカラ、大藏省トシテハ御方針ヲ今ノ

一般會計ノ財政ノ状態ニ鑑ミテハ、餘裕金

ガアレバ預金部特別會計カラ繰入レテ置カ

ナクチヤナラヌコトガ、引續キ續クト思フ

トカ、或ハ然ルベキ時ニハ此餘裕金ハ還元

スル積リデアルトカ、或ハ古イ今迄ノ貸付

金ニ對シテハ更改スルコトモ出來ナイガ、

今後ノ新シイ貸付ニ對シテハ、資金「コス

ト」ノ下ッタモノニ對シテ、或ル程度ノ考慮

ヲ拂ハナクチヤナラヌトカ、何トカ御答辯

下サル方ガ、一般ニ對スル反響ガ宜クハア

リマセヌデスカ、御注意迄ニ申上ゲテ置キ

マス

○結城國務大臣 資金「コスト」ガ昨年來

下ッテ居リマス、「コスト」バカリチヤナイ、

一體ニ長期ノ資金金利ナドガ下ッテ居リマ

スカラ、預金部ノ貸出ナドモ徐々ニ、ズツ

下ッテ來テ居リマシテ、中ニハ低金利ノ趨

勢以上ニ下ッテ居ルモノナドモアルヤウデ

アリマス、ソレデ今度郵便貯金ガ下リマシ

テ、ソコデ八百萬圓出來テ、アレダケノ「コ

スト」ガ下ッタカラ、右左ニソレダケ貸金ガ

下ルカト云フト、サウ云フ風ヂヤアリマセ

ヌガ、或ハソレ以上ニ自然ニ下ッテ來テ居

ルノカトモ、私ハ思フノデアリマス、是ハ

ソレノノ貸出ノ口ニ依ッテ、皆違ッテ居リ

マスカラ、一概ニハ私ハ言ヘヌト思フ、全

體ニソレダケノ金利ヲ下ゲル、斯ウ云フ風

ナモノヂヤナイト思フノデアリマス、隨テ

「コスト」ガ下ッタラ、ソレダケ下ゲナイノ

ハト云フヤウナコトハナイ、寧ろ今度ハ其

「コスト」ノ下ッタノヲ、社會的施設其他ニ大

部分ヲ振向ケタ、斯ウ云フ風ナ事情ニアル

コトヲ御諒承ヲ願ヘバ宜カラウト思フノデ

アリマス

○木暮委員長 政府委員ノ方カラ別ニ補充

スル御話ハアリマセヌカ

○入閣野政府委員 只今大藏大臣カラ御説

明ニナリマシタ通りデアリマシテ、敢テ附

加ヘル必要ガナイト思フノデスガ、簡單ニ

説明ヲ致シタイト思ヒマス、預金部ニ於キ

マシテハ、從來郵便貯金ノ利子ヲ引下ゲマ

シタ場合、即チ昭和五年、ソレカラ昭和七

年、此二回ニ於キマシテハ、其利子ノ下リ

マシタ爲ニ、資金「コスト」ガ安クナリマス

關係上、貸付金ノ利子ヲ引下ゲタノデアリ

マス、然ルニ最近尙ホ各方面カラノ要望ガ

アリ、昨年七月ニ更ニ貸出金ノ大幅ノ利子

ノ引下ヲヤリマシタ、是ハ郵便貯金ノ利子

ヲ引下ゲタ爲メデアリマス、今回郵便貯金ノ利

子ヲ引下ゲマシタケレドモ、昨年既ニサウ

云フ風ニ大幅ノ引下ヲヤッタ關係上、昭和十

一年ニ於キマシテ、地方資金トシテ出テ行

キマスヤウニ決定シタ金額ガ、凡ソ一億八

千萬圓デアリマス、其中一億六千萬圓ハ三

分二厘ト云フ低利デ出テ居ル、是レ以上引

下ゲマスコトハ一般金融情勢カラ言ヒマシ

テ、如何カト考ヘマスノデ、今回ハ貸付金利

率ノ引下ハ行ハナイコトニ致シタノデアリ

マス、從來、然ラバ一般會計ニ繰入ヲ爲シ

タ例ハアツカト申シマス、是ハ古イ話デアリマスガ、明治四十四年ニ其例ガアリマス、今回之ヲ一般會計ニ繰入レマシテ、社會施設ノ事業ノ方面ニ主トシテ使ッテ貰フコトニ致シマシタノハ、多數預金者ト略同ジヤウナ階級ニアリマスル庶民階級ノ、福利増進ノ爲ニヤツタ次第デアリマス、其趣旨カラ申シマシテ貸付金ノ利子引下ゲト同ジヤウナ意味ニ於テ、一般庶民階級ノ便利ヲ圖ツタ次第デアリマス、左様御諒承願ヒマス

○木暮委員長 大體其趣旨ハ分リマシタカ
○松田委員 此前カラ七分四厘位ノ差ガアツタヤウニ、昭和七年ノ議會デアリマシタカ、其時ニ話ヲシタ結果、下ゲテ行ツタ、デスカラ政府ガ自發的ニ下ゲタト云フノハ嘘デス、吾々カラ言ッテカラ下ゲタ、明治四十年年カノ話デ、遞信省デアノ時ニヤツテ居リマスガ、是ハ一種ノ増税ヲ意味シタモノデアリマスガ、併シ是モ茲迄來テ大體委員會ヲ通過スルニ決シタノデスカラ、モウ是以上申上ゲマセヌ

○木暮委員長 本日ハ此程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ本委員會ヲ開キ、引續キ質疑ヲ續行致シマス

午後四時十二分散會

〔参照〕

松田委員要求ノ參考資料

- 一、昨年一月ヨリ十二月ニ至ル日本銀行ノ民間拂出金ノ月別表
- 二、公債賣却ノ月別表
- 三、政府預金増減ノ月別表
- 四、假ニ増徴案ガ通過スルモノト見テ株式五十圓拂込ガ六十圓時價トセバ利廻ハ何程カ
- 五、所得三千圓カラ四百萬圓迄所得各々ノ分
- 六、昭和六年カラ昨年末ニ至ル政府ノ公債利拂年次表
- 七、銀行信託保險預金部ノ公債所有高増減表
- 八、昭和六年ヨリ昨年末社債地方債銀行債券發行ノ増減

昭和十二年三月十七日印刷

昭和十二年三月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社